

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

生活科学科

01	生活学的法律論	2	講義
02	生活学的経済論	2	講義
03	生活学的社会論	2	講義
04	日本国憲法	2	講義
05	生活化学	2	講義
06	運動健康論	2	演習
07	キャリアデザインⅡ	1	講義
08	調理学演習	2	講義・演習

15

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

生活化学科

生活総合コース			
01	生活学的法律論	2	講義
02	生活学的経済論	2	講義
03	生活学的社会論	2	講義
04	日本国憲法	2	講義
05	生活化学	2	講義
06	運動健康論	2	演習
07	キャリアデザインⅡ	1	講義
08	調理学演習	2	講義・演習

15

福祉コース

01	生活学的法律論	2	講義
02	生活学的経済論	2	講義
03	生活学的社会論	2	講義
04	日本国憲法	2	講義
05	生活化学	2	講義
06	運動健康論	2	演習
07	キャリアデザインⅡ	1	演習
08	調理学演習	2	講義・演習

15

建築デザインコース

01	生活学的法	2	講義
02	生活学的経	2	講義
03	生活学的社	2	講義
04	日本国憲法	2	講義
05	生活化学	2	講義
06	運動健康論	2	演習
07	キャリアデザ	1	演習
08	調理学演習	2	講義・演習

15

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

食物栄養学科

01	生活学的法律論	2	講義
02	生活学的経済論	2	講義
03	生活学的社会論	2	講義
04	日本国憲法	2	講義
05	生活化学	2	講義
06	運動健康論	2	演習
07	キャリアデザインⅡ	1	演習
08	臨床医学Ⅰ	2	講義

15

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

地域創成学科

- | | |
|------------|------|
| 1 マーケティング論 | 2 講義 |
| 2 情報概論 | 2 講義 |
| 3 情報処理Ⅱ | 2 演習 |
| 4 図書館概論 | 2 講義 |

8

健康栄養学科

- | | |
|-------------|------|
| 1 日本国憲法 | 2 講義 |
| 2 スポーツ実技 | 1 実技 |
| 3 キャリアデザインⅡ | 1 演習 |
| 4 病理学 | 2 講義 |
| 5 食品衛生学 | 2 講義 |

8

幼児教育学科

- | | |
|-------------|------|
| 1 日本国憲法 | 2 講義 |
| 2 キャリアデザインⅡ | 1 演習 |
| 3 子どもの保健 | 2 講義 |
| 4 子どもの健康と安全 | 1 講義 |
| 5 社会福祉 | 2 講義 |

8

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

専攻科 文化学専攻

- | | |
|--------------|------|
| 1 日本古代の歴史と文化 | 4 講義 |
| 2 考古学特論 | 4 講義 |
| 3 日本の考古学 | 4 講義 |
| 4 考古学演習 | 4 演習 |

16

専攻科 幼児教育学専攻

- | | |
|-------------|------|
| 健康教育論 | 2 講義 |
| パソコン実務演習 | 2 演習 |
| 教育課程特論 | 2 講義 |
| 保育内容・方法の研究Ⅰ | 2 講義 |

8

科目名	生活学的法律論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木 康元		
開講期	後期		
授業概要	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		
達成目標	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること		
受講資格	家政学部 1年	成績評価 方法	ペーパー試験と出席の程度を考慮する
教科書	その都度指定する		
参考書	その都度指定する		
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい☑		
オフィスタイト	授業開始前：創学館 2階教務部非常勤講師室☑ 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法的位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻(1)	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻(2)	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚(1)	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚(2)	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子(1)	親子の種別(実子・養子)と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子(2)	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力(1)	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力(2)	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活学的経済論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員	長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業概要	<p>本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。☑</p> <p>なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑</p> <p>在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事。☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑</p> <p>小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1109</p>			
達成目標	<p>【単位認定の最低基準】☑</p> <p>経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑</p> <p>【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>			
受講資格	家政学部 生活科学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点	
教科書	プリントを配布する。			
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
オフィスタイト	火曜日 2コマ目 木曜日5コマ目☑ 食品経営学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。☑ 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。 近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
10	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
12	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
14	行動経済学とその概要①	行動経済学とは何か、その概要について学修し、ナッジ（nudge）理論を元にその事例を紹介する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	行動経済学とその概要② まとめ	行動経済学の理論について学修する（前回の続き）。これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

科目名	生活学的社会論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	長谷川 貴弘		
開講期	前期		
授業概要	<p>私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか、すなわち現代社会の特性、人と社会との関係、社会問題とその背景について理解を深め、考察する力を養うこと、更に社会と切り離せない生活の多様性についても理解することを目的としている。☑</p> <p>なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑ 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。 ☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑ 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1108</p>		
達成目標	<p>【単位認定の最低基準】 ☑ 私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>		
受講資格	家政学部 生活科学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	奥井智之著「社会学」東京大学出版会他		
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。		
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日5コマ目☑ 食品経営学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。☑ 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題—DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート（ひきこもりを含む）、日本的雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と自己と他者①	癒しと宗教、社会的自我と個人のアイデンティティについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と自己と他者②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）☑	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（1）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（2）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（3）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

科目名	日本国憲法	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木 康元		
開講期	前期		
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☒ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☒ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☒		
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☒ ☒		
受講資格	幼児教育学科 1年生	成績評価 方法	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)
教科書	憲法【第二版】☒ 弘文堂		
参考書	特に指定しない		
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。		
オフィスタイト	授業開始前：創学館 2 階教務部非常勤講師室 ☒		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活化学	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	大西 弘太郎		
開講期	前期		
授業概要	生活科学部での専門科目学習において重要な化学系各講義を理解するための化学的基礎学力および知識の修得を目指す。高校化学の復習・補完および教職課程に必要な有機化学、食品化学、環境化学など専門化学系科目の導入知識の修得を目指す。☑ ☑ 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。☑ 実務経歴：医師として医療機関に勤務している。☑ ☑ 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけでなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。☑ ☑ 位置づけ・水準 GU1112		
達成目標	原子の構造と化学結合についての化学的基礎知識を修得する。☑ 化学結合論に基づいた代表的な有機化合物の立体構造の推察力及び表現力を獲得する。☑ 有機化合物の構造と命名法の理解と代表的な有機化合物の命名能力を獲得する。☑ ☑ 単位認定の最低基準：化学的基礎知識が習得されていること。☑ ☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成。		
受講資格	生活科学科社会福祉コース 1年☑ 生活科学科建築デザインコース 1年	成績評価 方法	小テスト (20%) ☑ 筆記試験 (80%)
教科書	なし		
参考書	生理学・生化学につながる ていねいな化学(羊土社)		
学生への要望	講義での学習内容は、高校化学の復習に基づく化学的基礎知識を70%、専門化学系科目の導入知識を30%に設定している。1年後期以降に受講する専門化学系科目の準備として、本講義の学習内容をほぼ完全に理解・修得することが望ましい。☑ 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。		
オフィスタイム	臨床医学研究室☑ 火曜日 13:00～17:00。☑ 木曜日 15:00～17:00。☑ 金曜日 08:30～17:00。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質の構成と原子構造	物質の構成。☑ 原子構造と周期表。	物質は何でできている？、粒子は常に動いている！、元素と原子と分子ってどう違うの？、荷電って何？、周期表って何？、等々…………。	120
2	化学結合	イオン同士の結びつき、イオン結合。原子同士の結びつき、共有結合。金属同士の結びつき、金属結合。	イオンって何？、イオン結合って何？、共有結合って何？、ファンデルワールスカって何？、金属結合って何？、等々…………。	120
3	物質質量	原子量、分子量、式量。☑ 物質質量と化学反応式。	原子量、分子量、式量って何？、質量って何？、体積、密度って何？、溶媒・溶質・溶液って何？、モル濃度って何？、化学反応式って何？、等々…………。	120
4	酸と塩基。☑ 酸化還元反応。	酸と塩基。酸化還元反応。	酸、塩基とは？、酸・塩基の価数とは？、酸・塩基の強弱は電離度で決まる！、酸性・中性・塩基性、pH、中和、塩って何？。酸化と還元の3つの定義。電池の仕組み。	120
5	酵素反応と酸塩基平衡	酵素反応。☑ 体液の酸塩基平衡。	化学反応にも速度がある、化学反応による熱の出入り、化学反応にはエネルギーが必要、酵素は体内の化学反応を促進する。化学反応には方向性がある、平衡状態が崩れたらどうなるの？、pHの変化をやわらげる働き。	120
6	生体を構成する物質	糖質、脂質、タンパク質、核酸。	からだは有機物で出来ている。	120
7	気体の性質	気体・液体・固体、温度と状態、理想気体方程式。	物質の状態(特に気体について)予習復習をしましょう。	120
8	炭素化合物	アルカン。アルケン。シクロアルカン、シクロアルケン。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	官能基	アルコールとエーテル。アルデヒド。ケトン。カルボン酸。エステル。アミンとアミド。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120
10	芳香族	芳香族化合物。	芳香族について予習復習をしましょう。	120
11	色素	色素。	色素について予習復習をしましょう。	120
12	香り、味	香り、味。	香り、味について予習復習をしましょう。	120
13	高分子	高分子とは何か？。ポリエチレンとその仲間。ナイロンとその仲間。ゴム・プラスチック・合成繊維など。	高分子について予習復習をしましょう。	120
14	環境化学	環境化学。	環境化学について予習復習をしましょう。	120
15	まとめ	総合討論。	講義の内容・程度・分量などについて全体的に討論をしましょう。	120

科目名	運動健康論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	佐藤 浩明		
開講期	通年		
授業概要	GU1119☑ 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。☑ ①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。☑ ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。☑ ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。☑ ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。☑ ⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。		
達成目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける。レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】☑ ・他との協調 ・人間形成☑ 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている☑ スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる		
受講資格	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 1年 2単位 選択☑ 選択家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択☑ ☑ ☑ ※教職課程履修者は必修	成績評価 方法	平常点30点（取組姿勢） 試験・提出物70点（実技・レポート）☑ ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。
教科書	特になし（必要に応じて資料等を配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメゾット：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。☑ 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
オフィスタイト	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室☑ 佐藤		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30
2	縄跳び①/からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】☑ ☑ 【到達目標】☑ *スポーツ種目に必要な技術を習得する☑ *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑ ☑ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
5	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
6	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
8	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃☑</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
10	ソフトバレーボール③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
12	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	<まとめとして実技試験を行う>☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	<健康とは何か>☒ ☒ 健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
18	第18回 生活と健康について②	<生活習慣病の原因・対策・予防と運動>☒ ☒ ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。☒ ②運動・休養と健康について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	<大学生の健康>☒ ☒ 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	<スポーツとは何か>☒ ☒ スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	<生涯スポーツについて>☒ ☒ 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	<大学生とスポーツ>☒ ☒ 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	<フェアプレーについて>☒ ☒ スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常生活や、普段の行動にも通じるものがあります。☒ ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	<メンタルトレーニング>☒ ☒ 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	<目標設定>☒ ☒ スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	<体力とは>☒ ☒ ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。☒ ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。☒	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	≪エクササイズの方法について≫ <input checked="" type="checkbox"/> 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	≪からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法≫ <input checked="" type="checkbox"/> ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	≪ライフスタイルについて≫ <input checked="" type="checkbox"/> 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	≪良い習慣について≫ <input checked="" type="checkbox"/> 行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

科目名	キャリアデザインII	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 2年 1単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 1単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 1単位 選択
担当教員	森 みい		
開講期	前期		
授業概要	<p>【授業のねらい】☑</p> <p>将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。☑</p> <p>インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。☑</p> <p>☑</p> <p>【授業の概要】☑</p> <p>インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期6回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。☑</p> <p>GU1122</p>		
達成目標	<p>【授業終了時の達成目標】☑</p> <p>インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。</p>		
受講資格	特になし	成績評価 方法	就業体験60%・報告会20%・提出物20%「認」評価判定
教科書	なし		
参考書	なし		
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
オフィスタイム	月曜日9:00～12:30 水曜日9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要☑ 4/14(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究しておく。 ☑ インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え☑ 4/21(Vコマ)	昨年のインターンシップを参考に自分は何を学びたいのか明確な目標を設定していく。	インターンシップを通して、企業や業界の働きについて考える。	30
3	インターンシップの心構え☑ 5/19(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップは具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
4	企業研究(講演)☑ 6/2(Vコマ)	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
5	事前指導☑ (ビジネス文書作成)☑ 6/16(Vコマ)	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナーを確認しておく。	30
6	事前指導☑ (マナー講座)☑ 6/30(Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。☑ 就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、☑ 印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30
7	直前指導☑ (インターンシップ先の企業研究)7/14(Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者との打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施☑ 1班8/22～8/24☑ 2班8/29～8/31	各企業において、夏季休業中(8月中旬～下旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会☑ 9/5(1コマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	インターンシップ報告会 ☑ 9/5 (IIコマ)	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30

科目名	調理学演習	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択
担当教員	瀬谷 真理子, 大泉 由美		
開講期	前期		
授業概要	<p>調理の基本的な知識と技術を修得するために、家庭科教育における調理実習の献立をふまえ、代表的な料理（日本料理、西洋料理、中国料理）を演習することにより、教科指導において必要な実践力を高める。下ごしらえから盛り付けまでの流れを計画し、一人一人が個別に実践することにより、着実な技術を身につけていく。演習を通じて、調理学の基本的な知識と技術を修得するとともに食材の栄養価や色・形・味などの調理による変化とその理由を五感で理解しながら探究的な視野を大切にレポートを作成する。また、人々の暮らしにおける食生活を意識した状態別献立を取り入れ、日常食や行事食等、伝統的な食文化も大切にしながら調理における技術としての実践力を高め、自宅での実践により、調理に関する応用力を身につける。☑</p> <p>レポートを添削・返却しコメント等によるフィードバックを行う。</p> <p>また、高等学校の家庭科や中学校の家庭科において、教える立場からの指導方法を含めながら実践することにより、基本的知識と技術の定着を図り、家庭科教員としての資質を身につける。さらに福島県高等学校の家庭科教育における実務経験を生かしながら実践的な教科指導に向けた応用力を養う。☑</p> <p>実務経歴：福島県立高等学校校長、専門教科「家庭」、一級衣料管理士資格取得。教育庁社会教育課課長、社会教育主事資格取得。☑</p> <p>位置づけ・水準 HL2336</p>		
達成目標	<p>中学・高校の家庭科教員としての指導力や家庭での調理を実践するための基本的な知識や技術を修得することを目標とする。☑</p> <p>①野菜・果物、魚・肉などの食材に適した調理技術を修得し、指導することができる。</p> <p>②和洋中華料理の基本を修得し指導できるとともに、調理上必須となる食品衛生、環境負荷削減の知識を修得し、行動できる。</p> <p>③日常的な献立から状態別献立、行事食までの調理について、基礎的な知識技術を習得し、実践できる。</p> <p>単位認定の最低基準は、上記の①～③の総合的評価が達成度7割以上であること。☑</p> <p>ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、問題解決力、総合的な学習経験・創造的思考力☑</p> <p>位置付け・水準 HU2336</p>		
受講資格	上記対象学生、教職履修者は必修	成績評価 方法	①授業態度：20%、②実技：40%、③レポート：40%とし、①から③の総合評価により60%以上で合格とする。
教科書	「基礎から学ぶ調理実習」オーム社 プリント配布		
参考書	「フードデザイン」教育図書、家庭教育振興会 全国高等学校家庭科技術検定実施要項		
学生への要望	準備から後片付けまでが調理学演習の一環と考え、積極的に取り組むこと。☑ また、豊かな食生活は家族団楽を営む基礎となることを理解し、実習後は自宅での実践（復習）を必ず実施し、家族とのコミュニケーションを深める一助とすることを期待する。		
オフィスタイム	被服学研究室 月曜日II、III限目		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス（1） 授業の進め方や評価方法／食材の下ごしらえ・切り方など	シラバスにそって授業の概要や到達目標、評価方法などを説明する。授業を受けるにあたって特に必要となる授業後のレポート作成と自宅での実践の必要性を認識する。☑	本日の講義内容をまとめ、問題点をピックアップする。	30
2	ガイダンス（1） 実習室・調理器具について・授業の進め方や評価方法	調理実習室の使い方、調理器具の使い方、洗い方、手入れ等について基本を学ぶ。使用していく教科書を用いて、調理の基本、調理実習時の衛生管理について理解させる。食することの意味について考え、デスカッションする。	本日の講義内容をまとめ、問題点をピックアップする。ワークシートの作成を行う。	30
3	ガイダンス（2） 文化鍋の使い方／西洋料理①	【文化鍋での炊飯とドライカレー、春野菜のスープ、いちごのミルクゼリー】のつくり方を学ぶ。 ①炊飯の原理を理解し、文化鍋での炊飯の仕方を学ぶ。 ②ゼラチンの特徴と扱い方を学ぶ。 ③果物の扱いについての基本を学ぶ。	説明したレポートの書き方にそって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で行い、レポート作成する。	60
4	ガイダンス（2） 文化鍋の使い方／西洋料理①	【文化鍋での炊飯とドライカレー、春野菜のスープ、いちごのミルクゼリー】のつくり方を学ぶ。 ①炊飯の原理を理解し、文化鍋での炊飯の仕方を学ぶ。 ②ゼラチンの特徴と扱い方を学ぶ。 ③果物の扱いについての基本を学ぶ。	説明したレポートの書き方にそって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で行い、レポート作成する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	日本料理① 旬の食材を使った調理	旬の食材を使った調理について学ぶ。【たけのご飯、若竹汁、たけのこの天ぷら、いちご大福】☒ ①たけのこの下ごしらえと部位別調理☒ ②炊き込み飯の種類と作り方☒ ③だしの取り方☒ ④揚げ物について、衣のつくり方と揚げ方 ⑤白玉粉の特徴と取り扱い☒	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
6	日本料理① 旬の食材を使った調理	旬の食材を使った調理について学ぶ。【たけのご飯、若竹汁、たけのこの天ぷら、いちご大福】☒ ①たけのこの下ごしらえと部位別調理☒ ②炊き込み飯の種類と作り方☒ ③だしの取り方☒ ④揚げ物について、衣のつくり方と揚げ方 ⑤白玉粉の特徴と取り扱い☒	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
7	西洋料理② 西洋料理の基本	【コンソメジュリアン、グラタン、グリーンサラダ、ブライマンジェ】 代表的な西洋料理の基本を学ぶ。 ①ホワイトソースの理解、作り方 ②エビの下ごしらえと扱い ③ドレッシングの基本と作り方 ④コーンスターチの特徴と扱い方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
8	西洋料理② 西洋料理の基本	【コンソメジュリアン、グラタン、グリーンサラダ、ブライマンジェ】 代表的な西洋料理の基本を学ぶ。 ①ホワイトソースの理解、作り方 ②エビの下ごしらえと扱い ③ドレッシングの基本と作り方 ④コーンスターチの特徴と扱い方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
9	日本料理② 丼物、和え物、澄まし汁の基本	【そばろ飯、吉野鶏の澄まし汁、青菜のごま和え、フルーツ羹】 日常的な和風献立の基本を学ぶ。 ①そばろのつくり方 ②煮出し汁の取り方と澄まし汁 ③野菜のゆで方と和え物の要領 ④寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
10	日本料理② 丼物、和え物、澄まし汁の基本	【そばろ飯、吉野鶏の澄まし汁、青菜のごま和え、フルーツ羹】 日常的な和風献立の基本を学ぶ。 ①そばろのつくり方 ②煮出し汁の取り方と澄まし汁 ③野菜のゆで方と和え物の要領 ④寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
11	中国料理①	【什錦炒飯、焼売、 黄瓜】 日常的な中国料理のつくり方を学ぶ。 ①中国料理の特徴を知る ②炒め物の要領、食材の扱い ③蒸し器の扱い方 ④和え物の要領	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
12	中国料理①	【什錦炒飯、焼売、 黄瓜】 日常的な中国料理のつくり方を学ぶ。 ①中国料理の特徴を知る ②炒め物の要領、食材の扱い ③蒸し器の扱い方 ④和え物の要領	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	中国料理②	<p>【古老肉、凉拌三絲、黄花湯】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の溜菜の要領を学ぶ ②薄焼き卵のつくり方、はるさまの扱い方を学ぶ ③和え物の要領について ④とろみのあるスープ（湯）について</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
14	中国料理②	<p>【古老肉、凉拌三絲、黄花湯】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の溜菜の要領を学ぶ ②薄焼き卵のつくり方、はるさまの扱い方を学ぶ ③和え物の要領について ④とろみのあるスープ（湯）について</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
15	状態別献立① ～高齢者向け和風献立～	<p>状態別献立として、実施する。高齢者向けの内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【炊き込みご飯（五目ごはん）、エビしんじょの澄まし汁、かぼちゃのそぼろあんかけ】</p> <p>①炊き込みご飯のつくり方 ②各食材の扱い ③しんじょの扱い ④そぼろあんのつくり方</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
16	状態別献立① ～高齢者向け和風献立～（しんじょ、わらびもち、そぼろあん：介護食）	<p>状態別献立として、実施する。高齢者向けの内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【炊き込みご飯（五目ごはん）、エビしんじょの澄まし汁、かぼちゃのそぼろあんかけ、わらびもち】</p> <p>①炊き込みご飯（五目飯）のつくり方 ②しんじょの扱い ③かぼちゃの扱いとそぼろあんのつくり方 ④わらび粉の扱いとわらびもちのつくり方</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
17	状態別献立① ～高齢者向け和風献立～（しんじょ、わらびもち、そぼろあん：介護食）	<p>状態別献立として、実施する。高齢者向けの内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【炊き込みご飯（五目ごはん）、エビしんじょの澄まし汁、かぼちゃのそぼろあんかけ、わらびもち】</p> <p>①炊き込みご飯（五目飯）のつくり方 ②しんじょの扱い ③かぼちゃの扱いとそぼろあんのつくり方 ④わらび粉の扱いとわらびもちのつくり方</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
18	状態別献立② ～子供向け洋風献立～	<p>状態別献立として、実施する。子供向け（幼児・児童期）の献立内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【チキンピラフ、鶏肉のハンガリー煮、トマトカップサラダ（スタッフドトマト、二色ゼリー）】</p> <p>①ピラフのつくり方、米の扱い方を理解する。 ②クリーム煮の基本を理解する。 ③トマトの扱い方を理解する。 ④ゼラチンの扱いと応用調理</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
19	状態別献立③ ～成人向け和風献立～	<p>状態別献立として、実施する。成人向けの献立内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【肉じゃが、菜飯、切り身魚のホイル焼き、カブと油揚げの味噌汁、白玉だんご】</p> <p>①基本的な煮物のつくり方 ②菜飯の葉の扱い方 ③ホイル焼きの要領 ④味噌汁の基本 ⑤白玉粉の扱い方</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
20	状態別献立③ ～成人向け和風献立～	<p>状態別献立として、実施する。成人向けの献立内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【肉じゃが、菜飯、切り身魚のホイル焼き、カブと油揚げの味噌汁、白玉だんご】</p> <p>①基本的な煮物のつくり方 ②菜飯の葉の扱い方 ③ホイル焼きの要領 ④味噌汁の基本 ⑤白玉粉の扱い方</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
21	中国料理③	<p>【青椒肉絲、粟米湯、奶豆腐、凉拌海蜇】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の基本と特徴を学ぶ ②寒天の扱い方 ③とろみのあるスープ（湯）の応用について ④くらげの扱いを理解する</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
22	中国料理③	<p>【青椒肉絲、粟米湯、奶豆腐、凉拌海蜇】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の基本と特徴を学ぶ ②寒天の扱い方 ③とろみのあるスープ（湯）の応用について ④くらげの扱いを理解する</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
23	弁当料理	<p>日常食の一つとして昼食の献立を弁当料理として、基本的な理解と実践を行う。※盛り付けの実技テストを行う</p> <p>①主菜、副菜への理解 ②常備菜のつくり方 ③彩の工夫</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
24	弁当料理	<p>日常食の一つとして昼食の献立を弁当料理として、基本的な理解と実践を行う。※盛り付けの実技テストを行う</p> <p>①主菜、副菜への理解 ②常備菜のつくり方 ③彩の工夫</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
25	行事食① 誕生日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。※一品を実技テストとして行う。【ハンバーグステーキ、クラムチャウダー、フルーツサラダ】 ①ひき肉を使った焼き物のつくり方 ②つなぎ材料の役割とその割合 ③貝類の扱い、煮込み方 ④果物の扱い、ソースのつくり方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
26	行事食① 誕生日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。※一品を実技テストとして行う。【ハンバーグステーキ、クラムチャウダー、フルーツサラダ】 ①ひき肉を使った焼き物のつくり方 ②つなぎ材料の役割とその割合 ③貝類の扱い、煮込み方 ④果物の扱い、ソースのつくり方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
27	行事食② 七夕祭りの献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【ちらし寿司、澄まし汁、青菜の辛し和え、フルーツみつ豆】 ①酢飯のつくり方 ②だし汁の取り方 ③青菜の扱い方 ④寒天の扱いと白玉粉の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
28	行事食② 七夕祭りの献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【ちらし寿司、澄まし汁、青菜の辛し和え、フルーツみつ豆】 ①酢飯のつくり方 ②だし汁の取り方 ③青菜の扱い方 ④寒天の扱いと白玉粉の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
29	行事食③ 敬老の日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【天ぶら、茶わん蒸し、豆ごはん、水ようかん】 ①揚げ衣のつくり方 ②卵の性質、蒸し物の要領 ③寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
30	行事食③ 敬老の日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【天ぶら、茶わん蒸し、豆ごはん、水ようかん】 ①揚げ衣のつくり方 ②卵の性質、蒸し物の要領 ③寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60

科目名	生活学的法律論	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース	2単位 選択
担当教員	鈴木 康元			
開講期	後期			
授業概要	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
達成目標	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること			
受講資格	家政学部1年	成績評価 方法	ペーパー試験と出席の程度を考慮する	
教科書	その都度指定する			
参考書	その都度指定する			
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい☑			
オフィスタイト	授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室☑ 授業終了後			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法的位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻(1)	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻(2)	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚(1)	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚(2)	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子(1)	親子の種別(実子・養子)と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子(2)	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力(1)	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力(2)	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活学的経済論	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース		2単位 選択	
担当教員	長谷川 貴弘					
開講期	前期					
授業概要	<p>本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。☑</p> <p>なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑</p> <p>在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事。☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑</p> <p>小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1109</p>					
達成目標	<p>【単位認定の最低基準】☑</p> <p>経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑</p> <p>【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>					
受講資格	家政学部 生活科学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点			
教科書	プリントを配布する。					
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。					
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。					
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日5コマ目☑ 食品経営学研究室					

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。☑ 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。 近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
10	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
12	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
14	行動経済学とその概要①	行動経済学とは何か、その概要について学修し、ナッジ（nudge）理論を元にその事例を紹介する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	行動経済学とその概要② まとめ	行動経済学の理論について学修する（前回の続き）。これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

科目名	生活学的社会論	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース	2単位 選択
担当教員	長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業概要	<p>私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか、すなわち現代社会の特性、人と社会との関係、社会問題とその背景について理解を深め、考察する力を養うこと、更に社会と切り離せない生活の多様性についても理解することを目的としている。☑</p> <p>なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑ 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。 ☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑ 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1108</p>			
達成目標	<p>【単位認定の最低基準】 ☑ 私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>			
受講資格	家政学部 生活科学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点	
教科書	プリントを配布する。			
参考書	奥井智之著「社会学」東京大学出版会他			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日5コマ目☑ 食品経営学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。☑ 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題—DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート（ひきこもりを含む）、日本的雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と自己と他者①	癒しと宗教、社会的自我と個人のアイデンティティについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と自己と他者②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）☑	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（1）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（2）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（3）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

科目名	日本国憲法	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース	2単位 選択
担当教員	鈴木 康元			
開講期	前期			
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☑ 履修カルテ評価項目☑ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☑ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☑ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☑			
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☑ 履修カルテ評価項目☑ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☑ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☑ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☑ ☑			
受講資格	幼児教育学科1年生	成績評価 方法	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
教科書	憲法【第二版】☑ 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
オフィスタイト	授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 ☑			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活化学	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース		2単位 選択
担当教員	大西 弘太郎				
開講期	前期				
授業概要	生活科学部での専門科目学習において重要な化学系各講義を理解するための化学的基礎学力および知識の修得を目指す。高校化学の復習・補完および教職課程に必要な有機化学、食品化学、環境化学など専門化学系科目の導入知識の修得を目指す。☒ ☒ 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。☒ 実務経歴：医師として医療機関に勤務している。☒ ☒ 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。☒ ☒ 位置づけ・水準 GU1112				
達成目標	原子の構造と化学結合についての化学的基礎知識を修得する。☒ 化学結合論に基づいた代表的な有機化合物の立体構造の推察力及び表現力を獲得する。☒ 有機化合物の構造と命名法の理解と代表的な有機化合物の命名能力を獲得する。☒ ☒ 単位認定の最低基準：化学的基礎知識が習得されていること。☒ ☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成。				
受講資格	生活科学科社会福祉コース 1年☒ 生活科学科建築デザインコース 1年	成績評価 方法	小テスト (20%) ☒ 筆記試験 (80%)		
教科書	なし				
参考書	生理学・生化学につながる ていねいな化学(羊土社)				
学生への要望	講義での学習内容は、高校化学の復習に基づく化学的基礎知識を70%、専門化学系科目の導入知識を30%に設定している。1年後期以降に受講する専門化学系科目の準備として、本講義の学習内容をほぼ完全に理解・修得することが望ましい。☒ 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。				
オフィスタイム	臨床医学研究室☒ 火曜日 13:00～17:00。☒ 木曜日 15:00～17:00。☒ 金曜日 08:30～17:00。				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質の構成と原子構造	物質の構成。☒ 原子構造と周期表。	物質は何でできている？、粒子は常に動いている！、元素と原子と分子ってどう違うの？、荷電って何？、周期表って何？、等々…………。	120
2	化学結合	イオン同士の結びつき、イオン結合。原子同士の結びつき、共有結合。金属同士の結びつき、金属結合。	イオンって何？、イオン結合って何？、共有結合って何？、ファンデルワールスカって何？、金属結合って何？、等々…………。	120
3	物質質量	原子量、分子量、式量。☒ 物質質量と化学反応式。	原子量、分子量、式量って何？、質量って何？、体積、密度って何？、溶媒・溶質・溶液って何？、モル濃度って何？、化学反応式って何？、等々…………。	120
4	酸と塩基。☒ 酸化還元反応。	酸と塩基。酸化還元反応。	酸、塩基とは？、酸・塩基の価数とは？、酸・塩基の強弱は電離度で決まる！、酸性・中性・塩基性、pH、中和、塩って何？。酸化と還元の3つの定義。電池の仕組み。	120
5	酵素反応と酸塩基平衡	酵素反応。☒ 体液の酸塩基平衡。	化学反応にも速度がある、化学反応による熱の出入り、化学反応にはエネルギーが必要、酵素は体内の化学反応を促進する。化学反応には方向性がある、平衡状態が崩れたらどうなるの？、pHの変化をやわらげる働き。	120
6	生体を構成する物質	糖質、脂質、タンパク質、核酸。	からだは有機物で出来ている。	120
7	気体の性質	気体・液体・固体、温度と状態、理想気体方程式。	物質の状態(特に気体について)予習復習をしましょう。	120
8	炭素化合物	アルカン。アルケン。シクロアルカン、シクロアルケン。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	官能基	アルコールとエーテル。アルデヒド。ケトン。カルボン酸。エステル。アミンとアミド。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120
10	芳香族	芳香族化合物。	芳香族について予習復習をしましょう。	120
11	色素	色素。	色素について予習復習をしましょう。	120
12	香り、味	香り、味。	香り、味について予習復習をしましょう。	120
13	高分子	高分子とは何か？。ポリエチレンとその仲間。ナイロンとその仲間。ゴム・プラスチック・合成繊維など。	高分子について予習復習をしましょう。	120
14	環境化学	環境化学。	環境化学について予習復習をしましょう。	120
15	まとめ	総合討論。	講義の内容・程度・分量などについて全体的に討論をしましょう。	120

科目名	運動健康論	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース 2単位 選択
担当教員	佐藤 浩明		
開講期	通年		
授業概要	<p>GU1119☑</p> <p>生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。☑</p> <p>①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。☑</p> <p>②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。☑</p> <p>③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。☑</p> <p>④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。☑</p> <p>⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。</p>		
達成目標	<p>健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける。レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする☑</p> <p>【ディプロマ・ポリシーとの関係】☑</p> <p>・他との協調 ・人間形成☑</p> <p>【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている☑</p> <p>スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる</p>		
受講資格	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 食物栄養学科 1年 2単位 選択☑ ☑ ☑ ※教職課程履修者は必修	成績評価 方法	平常点30点（取組姿勢） 試験・提出物70点（実技・レポート）☑ ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。
教科書	特になし（必要に応じて資料等を配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメゾット：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。☑ 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
オフィスタイト	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室☑ 佐藤		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30
2	縄跳び①/からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】☑ ☑ 【到達目標】☑ *スポーツ種目に必要な技術を習得する☑ *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑ ☑ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
5	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
6	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>【到達目標】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
8	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>【到達目標】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃<input checked="" type="checkbox"/></p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>【到達目標】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
10	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを発揮し楽しみながらグループで行う】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>【到達目標】<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
12	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	<p>◀まとめとして実技試験を行う▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	<p>◀健康とは何か▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
18	第18回 生活と健康について②	<p>◀生活習慣病の原因・対策・予防と運動▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>②運動・休養と健康について学びます。</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	<p>◀大学生の健康▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	<p>◀スポーツとは何か▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	<p>◀生涯スポーツについて▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	<p>◀大学生とスポーツ▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	<p>◀フェアプレーについて▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常生活や、普段の行動にも通じるものがあります。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	<p>◀メンタルトレーニング▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	<p>◀目標設定▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	<p>◀体力とは▶<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。<input checked="" type="checkbox"/></p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	<p>≪エクササイズの方法について≫☑</p> <p>健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。☑</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	<p>≪からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法≫☑</p> <p>①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。☑</p> <p>②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。☑</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	<p>≪ライフスタイルについて≫☑</p> <p>自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。☑</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	<p>≪良い習慣について≫☑</p> <p>行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。☑</p> <p>※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。</p>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

科目名	キャリアデザインII	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース	1単位選択
担当教員	森 みい			
開講期	前期			
授業概要	<p>【授業のねらい】☑ 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。☑ インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。</p> <p>【授業の概要】☑ インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期6回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。 GU1122</p>			
達成目標	<p>【授業終了時の達成目標】☑ インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。</p>			
受講資格	特になし	成績評価 方法	就業体験60%・報告会20%・提出物20%「認」評価判定	
教科書	なし			
参考書	なし			
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
オフィスタイム	月曜日 9:00～12:30 水曜日 9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/14(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/21(Vコマ)	昨年のインターンシップを参考に自分は何を学びたいのか明確な目標を設定していく。	インターンシップを通して、企業や業界の働きについて考える。	30
3	インターンシップの心構え 5/19(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップは具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
4	企業研究(講演)☑ 6/2(Vコマ)	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
5	事前指導☑ (ビジネス文書作成)☑ 6/16(Vコマ)	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナーを確認しておく。	30
6	事前指導☑ (マナー講座) 6/30(Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。☑就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、☑印象のいいマナーを日常から意識をして練習する。	30
7	直前指導☑ (インターンシップ先の企業研究)7/14(Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班8/22～8/24☑ 2班8/29～8/31	各企業において、夏季休業中(8月中旬～下旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/5(1コマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	インターンシップ報告会 ☒ 9/5 (日 コマ)	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30

科目名	調理学演習	対象 単位数 必選	家政学部 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース	2単位 選択
担当教員	瀬谷 真理子,大泉 由美			
開講期	前期			
授業概要	<p>調理の基本的な知識と技術を修得するために、家庭科教育における調理実習の献立をふまえ、代表的な料理（日本料理、西洋料理、中国料理）を演習することにより、教科指導において必要な実践力を高める。下ごしらえから盛り付けまでの流れを計画し、一人一人が個別に実践することにより、着実な技術を身につけていく。演習を通じて、調理学の基本的な知識と技術を修得するとともに食材の栄養価や色・形・味などの調理による変化とその理由を五感で理解しながら探究的な視野を大切にレポートを作成する。また、人々の暮らしにおける食生活を意識した状態別献立を取り入れ、日常食や行事食等、伝統的な食文化も大切にしながら調理における技術としての実践力を高め、自宅での実践により、調理に関する応用力を身につける。☑</p> <p>レポートを添削・返却しコメント等によるフィードバックを行う。</p> <p>また、高等学校の家庭科や中学校の家庭科において、教える立場からの指導方法を含めながら実践することにより、基本的知識と技術の定着を図り、家庭科教員としての資質を身につける。さらに福島県高等学校の家庭科教育における実務経験を生かしながら実践的な教科指導に向けた応用力を養う。☑</p> <p>実務経歴：福島県立高等学校校長、専門教科「家庭」、一級衣料管理士資格取得。教育庁社会教育課課長、社会教育主事資格取得。☑</p> <p>位置づけ・水準 HL2336</p>			
達成目標	<p>中学・高校の家庭科教員としての指導力や家庭での調理を実践するための基本的な知識や技術を修得することを目標とする。☑</p> <p>①野菜・果物、魚・肉などの食材に適した調理技術を修得し、指導することができる。</p> <p>②和洋中華料理の基本を修得し指導できるとともに、調理上必須となる食品衛生、環境負荷削減の知識を修得し、行動できる。</p> <p>③日常的な献立から状態別献立、行事食までの調理について、基礎的な知識技術を習得し、実践できる。</p> <p>単位認定の最低基準は、上記の①～③の総合的評価が達成度7割以上であること。☑</p> <p>ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、問題解決力、総合的な学習経験・創造的思考力☑</p> <p>位置付け・水準 HU2336</p>			
受講資格	上記対象学生、教職履修者は必修	成績評価 方法	①授業態度：20%、②実技：40%、③レポート：40%とし、①から③の総合評価により60%以上で合格とする。	
教科書	「基礎から学ぶ調理実習」オーム社 プリント配布			
参考書	「フードデザイン」教育図書、家庭教育振興会 全国高等学校家庭科技術検定実施要項			
学生への要望	準備から後片付けまでが調理学演習の一環と考え、積極的に取り組むこと。☑ また、豊かな食生活は家族団楽を営む基礎となることを理解し、実習後は自宅での実践（復習）を必ず実施し、家族とのコミュニケーションを深める一助とすることを期待する。			
オフィスタイム	被服学研究室 月曜日II、III限目			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス（1） 授業の進め方や評価方法／食材の下ごしらえ・切り方など	シラバスにそって授業の概要や到達目標、評価方法などを説明する。授業を受けるにあたって特に必要となる授業後のレポート作成と自宅での実践の必要性を認識する。☑	本日の講義内容をまとめ、問題点をピックアップする。	30
2	ガイダンス（1） 実習室・調理器具について・授業の進め方や評価方法	調理実習室の使い方、調理器具の使い方、洗い方、手入れ等について基本を学ぶ。使用していく教科書を用いて、調理の基本、調理実習時の衛生管理について理解させる。食することの意味について考え、デスクッションする。	本日の講義内容をまとめ、問題点をピックアップする。ワークシートの作成を行う。	30
3	ガイダンス（2） 文化鍋の使い方／西洋料理①	【文化鍋での炊飯とドライカレー、春野菜のスープ、いちごのミルクゼリー】のつくり方を学ぶ。 ①炊飯の原理を理解し、文化鍋での炊飯の仕方を学ぶ。 ②ゼラチンの特徴と扱い方を学ぶ。 ③果物の扱いについての基本を学ぶ。	説明したレポートの書き方にそって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で行い、レポート作成する。	60
4	ガイダンス（2） 文化鍋の使い方／西洋料理①	【文化鍋での炊飯とドライカレー、春野菜のスープ、いちごのミルクゼリー】のつくり方を学ぶ。 ①炊飯の原理を理解し、文化鍋での炊飯の仕方を学ぶ。 ②ゼラチンの特徴と扱い方を学ぶ。 ③果物の扱いについての基本を学ぶ。	説明したレポートの書き方にそって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で行い、レポート作成する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	日本料理① 旬の食材を使った調理	旬の食材を使った調理について学ぶ。【たけのご飯、若竹汁、たけのこの天ぷら、いちご大福】☒ ①たけのこの下ごしらえと部位別調理☒ ②炊き込み飯の種類と作り方☒ ③だしの取り方☒ ④揚げ物について、衣のつくり方と揚げ方 ⑤白玉粉の特徴と取り扱い☒	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
6	日本料理① 旬の食材を使った調理	旬の食材を使った調理について学ぶ。【たけのご飯、若竹汁、たけのこの天ぷら、いちご大福】☒ ①たけのこの下ごしらえと部位別調理☒ ②炊き込み飯の種類と作り方☒ ③だしの取り方☒ ④揚げ物について、衣のつくり方と揚げ方 ⑤白玉粉の特徴と取り扱い☒	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
7	西洋料理② 西洋料理の基本	【コンソメジュリアン、グラタン、グリーンサラダ、ブランマンジェ】 代表的な西洋料理の基本を学ぶ。 ①ホワイトソースの理解、作り方 ②エビの下ごしらえと扱い ③ドレッシングの基本と作り方 ④コーンスターチの特徴と扱い方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
8	西洋料理② 西洋料理の基本	【コンソメジュリアン、グラタン、グリーンサラダ、ブランマンジェ】 代表的な西洋料理の基本を学ぶ。 ①ホワイトソースの理解、作り方 ②エビの下ごしらえと扱い ③ドレッシングの基本と作り方 ④コーンスターチの特徴と扱い方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
9	日本料理② 丼物、和え物、澄まし汁の基本	【そばろ飯、吉野鶏の澄まし汁、青菜のごま和え、フルーツ羹】 日常的な和風献立の基本を学ぶ。 ①そばろのつくり方 ②煮出し汁の取り方と澄まし汁 ③野菜のゆで方と和え物の要領 ④寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
10	日本料理② 丼物、和え物、澄まし汁の基本	【そばろ飯、吉野鶏の澄まし汁、青菜のごま和え、フルーツ羹】 日常的な和風献立の基本を学ぶ。 ①そばろのつくり方 ②煮出し汁の取り方と澄まし汁 ③野菜のゆで方と和え物の要領 ④寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
11	中国料理①	【什錦炒飯、焼売、 黄瓜】 日常的な中国料理のつくり方を学ぶ。 ①中国料理の特徴を知る ②炒め物の要領、食材の扱い ③蒸し器の扱い方 ④和え物の要領	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
12	中国料理①	【什錦炒飯、焼売、 黄瓜】 日常的な中国料理のつくり方を学ぶ。 ①中国料理の特徴を知る ②炒め物の要領、食材の扱い ③蒸し器の扱い方 ④和え物の要領	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	中国料理②	<p>【古老肉、凉拌三絲、黄花湯】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の溜菜の要領を学ぶ ②薄焼き卵のつくり方、はるさまの扱い方を学ぶ ③和え物の要領について ④とろみのあるスープ（湯）について</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
14	中国料理②	<p>【古老肉、凉拌三絲、黄花湯】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の溜菜の要領を学ぶ ②薄焼き卵のつくり方、はるさまの扱い方を学ぶ ③和え物の要領について ④とろみのあるスープ（湯）について</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
15	状態別献立① ～高齢者向け和風献立～	<p>状態別献立として、実施する。高齢者向けの内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【炊き込みご飯（五目ごはん）、エビしんじょの澄まし汁、かぼちゃのそぼろあんかけ】</p> <p>①炊き込みご飯のつくり方 ②各食材の扱い ③しんじょの扱い ④そぼろあんのつくり方</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
16	状態別献立① ～高齢者向け和風献立～（しんじょ、わらびもち、そぼろあん：介護食）	<p>状態別献立として、実施する。高齢者向けの内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【炊き込みご飯（五目ごはん）、エビしんじょの澄まし汁、かぼちゃのそぼろあんかけ、わらびもち】</p> <p>①炊き込みご飯（五目飯）のつくり方 ②しんじょの扱い ③かぼちゃの扱いとそぼろあんのつくり方 ④わらび粉の扱いとわらびもちのつくり方</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
17	状態別献立① ～高齢者向け和風献立～（しんじょ、わらびもち、そぼろあん：介護食）	<p>状態別献立として、実施する。高齢者向けの内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【炊き込みご飯（五目ごはん）、エビしんじょの澄まし汁、かぼちゃのそぼろあんかけ、わらびもち】</p> <p>①炊き込みご飯（五目飯）のつくり方 ②しんじょの扱い ③かぼちゃの扱いとそぼろあんのつくり方 ④わらび粉の扱いとわらびもちのつくり方</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
18	状態別献立② ～子供向け洋風献立～	<p>状態別献立として、実施する。子供向け（幼児・児童期）の献立内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【チキンピラフ、鶏肉のハンガリー煮、トマトカップサラダ（スタッフドトマト、二色ゼリー）】</p> <p>①ピラフのつくり方、米の扱い方を理解する。 ②クリーム煮の基本を理解する。 ③トマトの扱い方を理解する。 ④ゼラチンの扱いと応用調理</p>	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
19	状態別献立③ ～成人向け和風献立～	<p>状態別献立として、実施する。成人向けの献立内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【肉じゃが、菜飯、切り身魚のホイル焼き、カブと油揚げの味噌汁、白玉だんご】</p> <p>①基本的な煮物のつくり方 ②菜飯の葉の扱い方 ③ホイル焼きの要領 ④味噌汁の基本 ⑤白玉粉の扱い方</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
20	状態別献立③ ～成人向け和風献立～	<p>状態別献立として、実施する。成人向けの献立内容として基礎知識の定着と基本的技術の定着を図る。【肉じゃが、菜飯、切り身魚のホイル焼き、カブと油揚げの味噌汁、白玉だんご】</p> <p>①基本的な煮物のつくり方 ②菜飯の葉の扱い方 ③ホイル焼きの要領 ④味噌汁の基本 ⑤白玉粉の扱い方</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
21	中国料理③	<p>【青椒肉絲、粟米湯、奶豆腐、凉拌海蜇】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の基本と特徴を学ぶ ②寒天の扱い方 ③とろみのあるスープ（湯）の応用について ④くらげの扱いを理解する</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
22	中国料理③	<p>【青椒肉絲、粟米湯、奶豆腐、凉拌海蜇】 日本で好まれ日常食となっている中国料理を実施する。</p> <p>①中国料理の基本と特徴を学ぶ ②寒天の扱い方 ③とろみのあるスープ（湯）の応用について ④くらげの扱いを理解する</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
23	弁当料理	<p>日常食の一つとして昼食の献立を弁当料理として、基本的な理解と実践を行う。※盛り付けの実技テストを行う</p> <p>①主菜、副菜への理解 ②常備菜のつくり方 ③彩の工夫</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60
24	弁当料理	<p>日常食の一つとして昼食の献立を弁当料理として、基本的な理解と実践を行う。※盛り付けの実技テストを行う</p> <p>①主菜、副菜への理解 ②常備菜のつくり方 ③彩の工夫</p>	<p>説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。</p>	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
25	行事食① 誕生日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。※一品を実技テストとして行う。【ハンバーグステーキ、クラムチャウダー、フルーツサラダ】 ①ひき肉を使った焼き物のつくり方 ②つなぎ材料の役割とその割合 ③貝類の扱い、煮込み方 ④果物の扱い、ソースのつくり方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
26	行事食① 誕生日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。※一品を実技テストとして行う。【ハンバーグステーキ、クラムチャウダー、フルーツサラダ】 ①ひき肉を使った焼き物のつくり方 ②つなぎ材料の役割とその割合 ③貝類の扱い、煮込み方 ④果物の扱い、ソースのつくり方	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
27	行事食② 七夕祭りの献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【ちらし寿司、澄まし汁、青菜の辛し和え、フルーツみつ豆】 ①酢飯のつくり方 ②だし汁の取り方 ③青菜の扱い方 ④寒天の扱いと白玉粉の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
28	行事食② 七夕祭りの献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【ちらし寿司、澄まし汁、青菜の辛し和え、フルーツみつ豆】 ①酢飯のつくり方 ②だし汁の取り方 ③青菜の扱い方 ④寒天の扱いと白玉粉の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
29	行事食③ 敬老の日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【天ぶら、茶わん蒸し、豆ごはん、水ようかん】 ①揚げ衣のつくり方 ②卵の性質、蒸し物の要領 ③寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60
30	行事食③ 敬老の日の献立	行事食として、日常の中の食生活に家族のお祝いを考えた調理の実践を行う。【天ぶら、茶わん蒸し、豆ごはん、水ようかん】 ①揚げ衣のつくり方 ②卵の性質、蒸し物の要領 ③寒天の扱い	説明したレポートの書き方によって、本日の演習内容結果をレポートにまとめるとともに発展として食材や調理方法等の探究を行う。さらに、学んだ料理を自宅で実践し、レポート作成する。	60

科目名	生活学的法律論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木 康元		
開講期	後期		
授業概要	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		
達成目標	(授業の目的・ねらい) ☑ 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける☑ (授業全体の内容の理解) ☑ 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう☑ (授業終了時の達成課題(到達目標)) ☑ 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること		
受講資格	家政学部 1年	成績評価 方法	ペーパー試験と出席の程度を考慮する
教科書	その都度指定する		
参考書	その都度指定する		
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい☑		
オフィスタイト	授業開始前：創学館 2階教務部非常勤講師室☑ 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法的位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻(1)	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻(2)	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚(1)	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚(2)	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子(1)	親子の種別(実子・養子)と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子(2)	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力(1)	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力(2)	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活学的経済論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員	長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業概要	<p>本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。☑</p> <p>なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑ 在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事。☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑ 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1109</p>			
達成目標	<p>【単位認定の最低基準】 ☑ 経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>			
受講資格	家政学部 生活科学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点	
教科書	プリントを配布する。			
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日5コマ目☑ 食品経営学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。☑ 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。 近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
10	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
12	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
14	行動経済学とその概要①	行動経済学とは何か、その概要について学修し、ナッジ（nudge）理論を元にその事例を紹介する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	行動経済学とその概要② まとめ	行動経済学の理論について学修する（前回の続き）。これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

科目名	生活学的社会論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	長谷川 貴弘		
開講期	前期		
授業概要	<p>私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか、すなわち現代社会の特性、人と社会との関係、社会問題とその背景について理解を深め、考察する力を養うこと、更に社会と切り離せない生活の多様性についても理解することを目的としている。☑</p> <p>なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。☑</p> <p>【実務経歴】☑ 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。 ☑</p> <p>【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】☑ 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。☑</p> <p>【位置づけ・水準】 GU1108</p>		
達成目標	<p>【単位認定の最低基準】 ☑ 私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。☑</p> <p>☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 他との協調、人間形成</p>		
受講資格	家政学部 生活科学科 1年生 ☑ 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績評価 方法	①小テスト30点（15点×2回）☑ ②レポート70点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	奥井智之著「社会学」東京大学出版会他		
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。		
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日5コマ目☑ 食品経営学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。☑ 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題—DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート（ひきこもりを含む）、日本的雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と自己と他者①	癒しと宗教、社会的自我と個人のアイデンティティについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と自己と他者②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）☑	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（1）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。☑	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（2）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（3）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

科目名	日本国憲法	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	鈴木 康元		
開講期	前期		
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☒ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☒ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☒		
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☒ ☒		
受講資格	幼児教育学科 1年生	成績評価 方法	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)
教科書	憲法【第二版】☒ 弘文堂		
参考書	特に指定しない		
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。		
オフィスタイト	授業開始前：創学館 2階教務部非常勤講師室 ☒		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	生活化学	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	大西 弘太郎		
開講期	前期		
授業概要	生活科学部での専門科目学習において重要な化学系各講義を理解するための化学的基礎学力および知識の修得を目指す。高校化学の復習・補完および教職課程に必要な有機化学、食品化学、環境化学など専門化学系科目の導入知識の修得を目指す。☒ ☒ 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。☒ 実務経歴：医師として医療機関に勤務している。☒ ☒ 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。☒ ☒ 位置づけ・水準 GU1112		
達成目標	原子の構造と化学結合についての化学的基礎知識を修得する。☒ 化学結合論に基づいた代表的な有機化合物の立体構造の推察力及び表現力を獲得する。☒ 有機化合物の構造と命名法の理解と代表的な有機化合物の命名能力を獲得する。☒ ☒ 単位認定の最低基準：化学的基礎知識が習得されていること。☒ ☒ ディプロマ・ポリシーとの関係：他との協調、人間形成。		
受講資格	生活科学科社会福祉コース 1年☒ 生活科学科建築デザインコース 1年	成績評価 方法	小テスト (20%) ☒ 筆記試験 (80%)
教科書	なし		
参考書	生理学・生化学につながる ていねいな化学(羊土社)		
学生への要望	講義での学習内容は、高校化学の復習に基づく化学的基礎知識を70%、専門化学系科目の導入知識を30%に設定している。1年後期以降に受講する専門化学系科目の準備として、本講義の学習内容をほぼ完全に理解・修得することが望ましい。☒ 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。		
オフィスタイム	臨床医学研究室☒ 火曜日 13:00～17:00。☒ 木曜日 15:00～17:00。☒ 金曜日 08:30～17:00。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質の構成と原子構造	物質の構成。☒ 原子構造と周期表。	物質は何でできている？、粒子は常に動いている！、元素と原子と分子ってどう違うの？、荷電って何？、周期表って何？、等々…………。	120
2	化学結合	イオン同士の結びつき、イオン結合。原子同士の結びつき、共有結合。金属同士の結びつき、金属結合。	イオンって何？、イオン結合って何？、共有結合って何？、ファンデルワールスカって何？、金属結合って何？、等々…………。	120
3	物質質量	原子量、分子量、式量。☒ 物質質量と化学反応式。	原子量、分子量、式量って何？、質量って何？、体積、密度って何？、溶媒・溶質・溶液って何？、モル濃度って何？、化学反応式って何？、等々…………。	120
4	酸と塩基。☒ 酸化還元反応。	酸と塩基。酸化還元反応。	酸、塩基とは？、酸・塩基の価数とは？、酸・塩基の強弱は電離度で決まる！、酸性・中性・塩基性、pH、中和、塩って何？。酸化と還元の3つの定義。電池の仕組み。	120
5	酵素反応と酸塩基平衡	酵素反応。☒ 体液の酸塩基平衡。	化学反応にも速度がある、化学反応による熱の出入り、化学反応にはエネルギーが必要、酵素は体内の化学反応を促進する。化学反応には方向性がある、平衡状態が崩れたらどうなるの？、pHの変化をやわらげる働き。	120
6	生体を構成する物質	糖質、脂質、タンパク質、核酸。	からだは有機物で出来ている。	120
7	気体の性質	気体・液体・固体、温度と状態、理想気体方程式。	物質の状態(特に気体について)予習復習をしましょう。	120
8	炭素化合物	アルカン。アルケン。シクロアルカン、シクロアルケン。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	官能基	アルコールとエーテル。アルデヒド。ケトン。カルボン酸。エステル。アミンとアミド。	それぞれについて予習復習をしましょう。	120
10	芳香族	芳香族化合物。	芳香族について予習復習をしましょう。	120
11	色素	色素。	色素について予習復習をしましょう。	120
12	香り、味	香り、味。	香り、味について予習復習をしましょう。	120
13	高分子	高分子とは何か？。ポリエチレンとその仲間。ナイロンとその仲間。ゴム・プラスチック・合成繊維など。	高分子について予習復習をしましょう。	120
14	環境化学	環境化学。	環境化学について予習復習をしましょう。	120
15	まとめ	総合討論。	講義の内容・程度・分量などについて全体的に討論をしましょう。	120

科目名	運動健康論	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択
担当教員	佐藤 浩明		
開講期	通年		
授業概要	GU1119☑ 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。☑ ①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。☑ ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。☑ ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。☑ ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。☑ ⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。		
達成目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける。レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】☑ ・他との協調 ・人間形成☑ 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている☑ スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる		
受講資格	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 福祉コース 1年 2単位 選択☑ 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 1年 2単位 選択☑ 選択家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択☑ ☑ ☑ ※教職課程履修者は必修	成績評価 方法	平常点30点（取組姿勢） 試験・提出物70点（実技・レポート）☑ ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。
教科書	特になし（必要に応じて資料等を配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。☑ 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
オフィスタイト	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室☑ 佐藤		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30
2	縄跳び①/からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】☑ ☑ 【到達目標】☑ *スポーツ種目に必要な技術を習得する☑ *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑ ☑ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②/からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
5	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
6	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
8	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃☑</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
10	ソフトバレーボール③/からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを發揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
12	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	≪まとめとして実技試験を行う≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	≪健康とは何か≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
18	第18回 生活と健康について②	≪生活習慣病の原因・対策・予防と運動≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ②運動・休養と健康について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> 。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	≪大学生の健康≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	≪スポーツとは何か≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	≪生涯スポーツについて≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	≪大学生とスポーツ≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	≪フェアプレーについて≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常生活や、普段の行動にも通じるものがあります。 <input checked="" type="checkbox"/> ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	≪メンタルトレーニング≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	≪目標設定≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	≪体力とは≫ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	≪エクササイズの方法について≫ <input checked="" type="checkbox"/> 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	≪からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法≫ <input checked="" type="checkbox"/> ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	≪ライフスタイルについて≫ <input checked="" type="checkbox"/> 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	≪良い習慣について≫ <input checked="" type="checkbox"/> 行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。 <input checked="" type="checkbox"/> ※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

科目名	キャリアデザインII	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 2年 1単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 1単位 選択/ 家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 1単位 選択
担当教員	森 みい		
開講期	前期		
授業概要	<p>【授業のねらい】☑</p> <p>将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。☑</p> <p>インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。☑</p> <p>☑</p> <p>【授業の概要】☑</p> <p>インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期6回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあっている経験を活かし授業を行います。☑</p> <p>GU1122</p>		
達成目標	<p>【授業終了時の達成目標】☑</p> <p>インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。</p>		
受講資格	特になし	成績評価 方法	就業体験60%・報告会20%・提出物20%「認」評価判定
教科書	なし		
参考書	なし		
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
オフィスタイム	月曜日9:00～12:30 水曜日9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要☑ 4/14(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究しておく。 ☑ インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え☑ 4/21(Vコマ)	昨年のインターンシップを参考に自分は何を学びたいのか明確な目標を設定していく。	インターンシップを通して、企業や業界の働きについて考える。	30
3	インターンシップの心構え☑ 5/19(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップは具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
4	企業研究(講演)☑ 6/2(Vコマ)	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
5	事前指導☑ (ビジネス文書作成)☑ 6/16(Vコマ)	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナーを確認しておく。	30
6	事前指導☑ (マナー講座)☑ 6/30(Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。☑ 就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、☑ 印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30
7	直前指導☑ (インターンシップ先の企業研究)7/14(Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者との打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施☑ 1班8/22～8/24☑ 2班8/29～8/31	各企業において、夏季休業中(8月中旬～下旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会☑ 9/5(1コマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	インターンシップ報告会 ☑ 9/5 (IIコマ)	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30

科目名	臨床医学Ⅰ	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 必修
担当教員	大西 弘太郎		
開講期	前期		
授業概要	主な疾患の成因・病態・治療ならびに予防について、その概要を解説する。☑ ☑ 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。☑ 実務経歴：医師として医療機関に勤務している。☑ ☑ 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけでなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。☑ ☑ 位置づけ・水準 FN2223		
達成目標	単位認定の最低基準：主な疾患の成因・病態・治療ならびに予防について、基本的知識が習得されていること。☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：研鑽、食生活への応用。		
受講資格	家政学部 食物栄養学科 2年 ☑ 同 編入生 3年	成績評価 方法	小テスト (20%)☑ 筆記試験 (80%)
教科書	疾病の成因・病態・診断・治療一人体の構造と機能および疾病の成り立ち。竹中 優(編集)、第2版、医歯薬出版株式会社		
参考書	特になし		
学生への要望	臨床医学の範囲は膨大である。教員が強調したポイントはその場で習得すること。☑ 理解の一助として動画を用いるが、その内容を逐一、記憶する必要はない。学生の理解度などによりスケジュールの変更もあり得る。理解し難いところは質問すること。		
オフィスタイム	臨床医学研究室☑ 月曜日 13:00～17:00。☑ 木曜日 13:00～17:00。☑ 金曜日 08:30～17:00。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	糖尿病とは	糖尿病とは☑ 糖尿病の症状と徴候☑ 糖尿病発症の危険因子☑ *1型糖尿病と2型糖尿病☑ *糖尿病診断基準	糖尿病の分類・症状・検査・診断などについて予習・復習をしましょう。	120
2	糖尿病の合併症・治療・予防	糖尿病急性合併症☑ 糖尿病慢性合併症☑ *糖尿病細小血管障害☑ *糖尿病大血管障害☑ 糖尿病の治療☑ 糖尿病の予防☑	糖尿病の合併症・治療・予防などについて予習・復習をしましょう。	120
3	妊娠糖尿病	妊娠糖尿病の定義と診断基準☑	妊娠糖尿病と糖尿病合併妊娠について予習・復習をしましょう。	120
4	脂質異常症、高尿酸血症、通風	脂質異常症☑ 高尿酸血症☑ 通風 ☑	脂質異常症、高尿酸血症について予習・復習をしましょう。	120
5	胃と食道の主な疾患	胃食道逆流症☑ 急性胃炎、慢性胃炎☑ 胃・十二指腸潰瘍☑ 胃がん☑ *ピロリ菌感染の臨床的意義☑ *胃切除後の合併症☑	食道と胃の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
6	小腸、大腸の主な疾患	急性腸炎、慢性腸炎☑ タンパク漏出性胃腸症☑ 炎症性腸疾患(クローン病と潰瘍性大腸炎)☑ 過敏性腸症候群☑ 腸結核☑ 大腸がん☑ 腸閉塞☑	小腸、大腸の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
7	肝炎	*各種ウイルス肝炎の臨床特長☑ *感染様式と予防 ☑ 慢性肝炎の自然経過☑	肝炎について予習・復習をしましょう。	120
8	肝硬変1	肝硬変とは☑ 背景疾患☑ *肝硬変の各種症状・身体所見	肝硬変について予習・復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	肝硬変2、脂肪肝、肝細胞がん	肝硬変の治療と管理☑ *脂肪肝☑ *NASHの臨床的意義☑ 肝細胞がん	肝硬変、脂肪肝、肝細胞がんなどについて予習・復習をしましょう。	120
10	胆道系、膵臓の主な疾患	胆石症、胆のう炎☑ 急性膵炎☑ 慢性膵炎の臨床特長と経過☑ 膵臓がん	胆道系、膵臓の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
11	循環器疾患総論	循環器総論☑ 血栓防止機構☑ 動脈血栓症☑ 静脈血栓症☑ *エコノミークラス症候群	うっ血、充血、血栓、塞栓、梗塞などについて予習・復習をしましょう。	120
12	高血圧、動脈硬化	高血圧とは☑ *高血圧はなぜ危険か☑ 高血圧の診断基準☑ 動脈硬化☑ 動脈硬化の分類☑ 動脈硬化の予防☑ 粥状動脈硬化の臨床的意義	高血圧、動脈硬化などについて予習・復習をしましょう。	120
13	虚血性心疾患	狭心症とは☑ 不安定狭心症☑ 心筋梗塞☑ *急性冠症候群	虚血性心疾患について予習・復習をしましょう。	120
14	心不全	心不全とは☑ 心不全と背景疾患☑ *右心不全と左心不全	心不全について予習・復習をしましょう。	120
15	不整脈	刺激伝統系の解剖と生理☑ 不整脈をきたす機序☑ 不整脈の分類☑ *心臓突然死☑	不整脈について予習・復習をしましょう。	120

科目名	マーケティング論	対象 単位数 必選	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員	佐藤 啓三		
開講期	I		
授業概要	<p>「マーケティング」は一部の人が理解して取り組めばよかった時代から、今やビジネスパーソンの誰もがマーケティングを意識しなければならない時代となった。マーケティングとは何か？ マーケティングが世の中でどのような役割を果たしているのか？ マーケティングをうまく実行していく上で「理論」がどのように役に立つのか？ デジタルの進化でマーケティングはどう変化しているのか？ そしてマーケティング活動を推進していく上で最も理解しておくべき「消費者行動」とは何か？ 企業が目指すべき今後のマーケティングの方向性とは何か？ について学ぶ。そして終盤では「一消費者」という立場（視点）から見た社会の様々な課題についてを学ぶ。</p> <p>流通業及び総合広告業での企画部門(マーケティング分野を含む)での勤務経験を活かして、企業がどのようにマーケティングに取り組んでいるのかを事例を挙げながら講義していく。実務経歴：西友にて百貨店やショッピングモールの営業計画マネジャー及びファッション専門店ビルの館長を経験、その後ゼビオ本社にて販売促進チームリーダーを経験した後、地元総合広告代理店にて執行役員企画制作部長を経験。</p> <p>課題に対してのフィードバックは、レポートを添削・返却し、コメント等によるフィードバックを行う。☑</p> <p>位置づけ・水準：CD2137</p>		
達成目標	<p>本授業における達成目標は次の通りとする。☑</p> <p>1. これからのビジネスパーソンの誰が必要とされるマーケティングの基礎知識を身につける。☑</p> <p>2. マーケティングと社会責任の関係についての基礎知識を身につけ、これからの自分の取るべき消費行動についても考えられるようになる。</p> <p>単位認定の最低基準 = 「内容の6割は理解できること」</p> <p>ディプロマ・ポリシーとの関係：2)創造的思考力、4)論理的な課題探求力と課題解決に向けた主体的行動力</p>		
受講資格	地域創成学科1年	成績評価方法	達成目標の到達度合いは課題により評価する。課題は中盤に1回、終盤に1回の合計2回提示し（レポート提出形式にて）確認を行う。評価の比率は中盤を40%、終盤を60%とする。
教科書	無し。（適宜資料配布）		
参考書	無し。		
学生への要望	授業内容を自分の実生活（消費行動）に置き換えて考えることで、理解を深めて欲しい。		
オフィスタイト			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション 1. マーケティングとは？ ①マーケティング論の成り立ち ②マーケティングの基本概念	この授業の目的・内容・成績評価等について説明する。 ■マーケティングの基礎編についての講義。 マーケティングとは何か？マーケティングが世の中でどのような役割を果たしているのか？マーケティングをうまく実行していく上で「理論」がどのように役に立つのか？の3点を中心に学ぶ。	■復習として 身近にある商品やサービスで、実際にどのようなマーケティング活動がなされていたのかを考えてみる。	30
2	1. マーケティングとは？ ③デジタル・マーケティング ④「消費者行動論」についてのイントロダクション	■デジタル・マーケティングの基礎知識となる「理論」や「概念」について学ぶ。 ■マーケティング実践の出発点である「ターゲットを知ること」（=消費者行動を知ること）が、いかに重要な分野であるかということを理解する。	■復習として アマゾン、ライン、インスタ、FBなど、普段自分たちが何気なく関わっているデジタル・マーケティングについて、講義内容を振り返りながら結び付けて考えてみる。	30
3	2. 消費者行動論 ◇個人としての消費者とは ①知覚について ②学習について	■生活者が消費行動をとるときに製品やサービスなどのそれらに関連する情報を「知覚」するプロセスを学ぶ。 ■経験によって引き起こされる行動の永続的変化のことを指す「学習」について学ぶ。	■復習として 「知覚」と「学習」について、自分の生活の中で実際にあった消費行動を振り返りながら当てはめてみる。	30
4	2. 消費者行動論 ◇個人としての消費者とは ③記憶について ④態度について	■生活者が消費活動をする際に大きな役割を果たしている「記憶」について学ぶ。 ■何かを対象にする際に「好き・嫌い」や「良い・悪い」などの評価をする「態度」について学ぶ。	■復習として 「記憶」と「態度」について、自分の生活の中で実際にあった消費行動を振り返りながら当てはめてみる。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	2. 消費者行動論 ◇個人としての消費者とは ⑤意思決定について ◇個人消費者へのマーケティング ①セグメンテーション	■生活者が消費についてどのように「意思決定」しているのかを学ぶ。 ■個人消費者へのマーケティング編の最初は「市場のセグメンテーション」について、デモグラフィックスとサイコグラフィックスを中心に学ぶ。	■復習として 「個人としての消費者」についての全体的復習をしておく。	30
6	2. 消費者行動論 ◇個人消費者へのマーケティング ②コミュニケーション ③店頭マーケティング	■企業が発信している「説得的コミュニケーション」について「メッセージ効果」と「発信源効果」を中心に学ぶ。 ■店舗には消費者に購入してもらうための知恵や工夫が詰まっていることを事例を通して学ぶ。	■復習として CMなどで多くみられる説得的コミュニケーションをピックアップし、なぜ多いのかを考えてみる。	30
7	2. 消費者行動論 ◇社会的存在としての消費者 ①アイデンティティ ②家族	■消費という行為が「私とは何か?」ということとどのように関係しているのかを学ぶ。 ■家族による消費において、メンバーが担っているそれぞれの役割の違いについて学ぶ。	■復習として 家族の形態の変化、「ひとり暮らしが多くなった」という視点で、コンビニではどのような対応をとっているかを観察してみる。	30
8	2. 消費者行動論 ◇社会的存在としての消費者 ③集団 ④ステイタス	■消費活動の中でも他者の影響を受ける（特に集団の中）ことについて学ぶ。 ■消費行動とステイタスについて、集団内や集団間におけるレベルに注目して学ぶ。	■復習として 最近自分が取り入れた流行を取り上げ、それがどこから発生したのか、自分はなぜそれを取り上げたのかを考えてみる。	30
9	2. 消費者行動論 ◇社会的存在としての消費者 ⑤サブカルチャー ⑥文化	■ある軸で集団が共有している文化である「サブカルチャー」と消費行動の関係性について学ぶ。 ■文化と消費、聖なる消費と俗なる消費、儀式としての消費について学ぶ。	■復習として 日頃行っている儀式としての消費を考えてみる。	30
10	3. 行動経済学について ◇不合理な消費者行動の存在 ①行動経済学とは何か? ②インサイトとは何か?	従来の経済学では「経済活動において人は合理的な判断をする」というのが定説であるが、実際の消費者行動をみると実に不合理にあふれていることがわかる。リチャード・セイラー教授がノーベル賞を受賞したことで注目されてきた「行動経済学」についての概要と、それを企業がマーケティング上でどのように活かしているかについて学ぶ。	■復習として 自分でも不合理な消費活動をしたことを思い出し、なぜそのような行動になったかを考えてみる。	30
11	4. これからのマーケティング ◇関係のマネジメント ①顧客理解のマネジメント ②顧客関係のマネジメント	企業側は、消費者行動を調査・理解したうえで、生活者とのような関係を構築しようとしているのかを学ぶ。 ■インサイトとは何か? ■顧客理解の事例（自動車メーカー）、顧客関係の事例（アウトドアメーカー）	■復習として 身近にある商品で、徹底した顧客理解をもとに開発された商品はないかどうかが考えてみる。	45
12	4. これからのマーケティング ◇社会責任のマネジメント ①マーケティングとCSR ②CSV経営とは?	過去、マーケティングとCSRは別ものと考えられがちだったが、現在ではCSRはマーケティングの今後の広がりと期待されている。そして、新たにCSVを経営の中核として取り組む企業も出てきた。ここではそれらを学ぶ。	■復習として 企業の公共性とはどのような考えか? どのような問題があるかを考えてみる。	30
13	4. これからのマーケティング ◇社会責任のマネジメント ③SDGsとは? ④SDGsとCSVの関係	SDGsとは何か? 企業はSDGsにどう取り組んでいこうとしているのか? (CSRとCSVの違い) 生活者は消費活動の中でどうSDGsに取り組んでいかなければならないのか? 等々について学ぶ。	■復習として 企業としてすぐに取り組んでいるSDGsには何があるのかについて考えてみる。	30
14	5. 消費生活概論 ◇生活知識 ①地球環境問題 ②エネルギー需給問題 ③もう一度SDGsを考える	エネルギーや環境の問題は、地球全体で知恵を出し合って考えていかなければならず、そこに住む1人ひとりの意識と消費行動が将来を大きく左右することとなる。これらはSDGsの取り組みの中でも重要な課題でもある。ここでは、企業側のマーケティング視点ではなく、ひとりの生活者としてどう意識を変えて向き合っていかなければならないかということ学ぶ。	■復習として 個人としてすぐに取り組めるSDGsについて考えてみる。	45

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	5. 消費生活概論 ◇生活知識 ①(衣.食.住)生活の今後の課題 ②ICTサービス利用と今後の課題 ③契約トラブルについて	企業側からの視点ではなく、「一消費者」という立場(視点)から見た社会の様々な課題について、ポイントを絞りながら学ぶ。また、社会人として世に出ていった際の「契約」に関するトラブルを未然に防ぐ知識を身につける。	■復習として 今後の課題であがっていた各内容を自分の生活に置き換えてみて、自分はどうに対応していけば良いかを具体的に考えてみる。	30

科目名	情報概論	対象 単位数 必選	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員	佐々木 達矢		
開講期	Ⅱ		
授業概要	<p>コンピュータや情報通信技術の基本原理を学び、実際のハードウェア構成、ソフトウェアの種類や機能を理解すると共にコンピュータをネットワークで接続したインターネットの日常生活やビジネスでの活用とそれを支える基本技術について学ぶ。さらに、ネット社会が抱える問題とその解決法について考える。また、今後、学習していく情報関連の授業が理解できるようにする。</p> <p>フィードバック方法：最終授業で授業内容を振り返り、試験のポイントを解説するとともにe-learningの実施状況についてフィードバックを行う。</p> <p>実務経歴：システムエンジニア及びプロジェクトマネージャとして富士通株式会社に勤務 位置付け・水準 CD2131</p>		
達成目標	<p>1.情報処理の基本である情報の単位が説明でき、2進16進の計算ができること。☑</p> <p>2.パソコンの動作の仕組みが説明できること。☑</p> <p>3.ネットワークの仕組みを理解すること。</p> <p>4.☑イプロマ・ポリシーと授業科目の関連及び単位認定の最低基準 超スマート社会の様々な課題を論理的に捉え問題を解決していく力を身につけるために、ICTの専門的知識の基礎を修得する。 単位認定の最低基準：7割を理解している必要がある。 ディプロマポリシーとの関係：課題の発見/分析/解決力</p>		
受講資格	なし	成績評価 方法	e-learningの学習成果：30点 ペーパー試験：70点の100点満点で60点以上で合格。
教科書	「これだけは知っておこう！情報リテラシー」 NOA出版		
参考書	パソコン検定3級試験対策本全般		
学生への要望	馴染みの無い言葉が沢山出てくるが、教科書をよく読み分らない言葉はインターネットで調べる等して学習する習慣をつけてください。☑		
オフィスタイト	非常勤講師控え室☑ 授業実施日の授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	講義内容を説明する。コンピュータ上で扱う情報について表現方法や演算の方法について学ぶ。☑ 用語：2進法、16進法、文字コード☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
2	コンピュータの基礎	コンピュータの歴史やコンピュータの種類、パソコンの形や取扱いの注意について学ぶ。☑ 用語：ノイマン型コンピュータ、PS/AT互換機、ハードウェア、ソフトウェア☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
3	ハードウェア 1	パソコン本体の内部がどのような部品で構成されているか確認し、それぞれの役割や性能について学習する。☑ 用語：CPU,メインメモリー、RAM/ROM☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
4	ハードウェア 2	外部記憶装置および代表的な出力装置の動作原理や種類、性能の見方について学ぶ。☑ 用語：ハードディスク、リムーバブルディスク、CRT、液晶、ラスタデータとベクタデータ☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
5	ハードウェア 3	入力装置の種類とその動作原理について学ぶ。また、周辺装置を接続するインターフェースについて学ぶ。☑ 用語：キーボード、マウス、スキャナー、シリアル転送、パラレル転送、IEEE1394、USB☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
6	基本ソフトウェア	OSの役割と種類を学習し、現在の主流となっているWindowsの特徴について学ぶ。☑ 用語：ディスク管理、レジストリ、ファイルシステム、拡張子、☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
7	アプリケーションソフトウェア	オフィス処理関係ソフトの種類と機能を学習するほかにデータベースソフトやプログラミングについて学ぶ。☑ 用語：テキストエディタ、DTPソフト、テーブル、レコード、フィールド、SQL、プログラミング☑	e-Learningの該当箇所を実施する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	情報通信ネットワークの仕組み	コンピュータネットワークの代表的な形態について学び、それぞれの違いについて確認する。☒ 用語：LAN,WAN,OSI,クライアント、サーバー☒	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
9	LANの構成	LANの規格、データ転送方式、LANのハードウェア、セキュリティについて学ぶ。☒ 用語：イーサネット、無線LAN,ハブ、ルータ、ファイアウォール、暗号化☒	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
10	インターネットの仕組み	インターネットとは何かについて、歴史、しくみ、代表的サービスであるWWWの観点から学ぶ。☒ 用語：ARPAnet、IPアドレス、ドメイン名、ISP☒	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
11	インターネット上のサービス	メールがどの様にして届くか学び正しく利用できる知識を得るとともにインターネット上の色々なサービスについて学ぶ。また、インターネットへの接続方法について説明できるようにする。用語：POP,SMTP,メーリングリスト、ADSL,FTTH	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
12	情報セキュリティ	セキュリティに関する正しい知識を持ち、適切な対策を講じることができるように学習する。☒ 用語：コンピュータウイルス、ウイルス感染の予防、スパイウェア☒	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
13	不正アクセス	不正アクセスとは何か及びそれを禁止している法律について学ぶとともに不正アクセスを防ぐ技術対策を理解し実施できるようにする。用語：不正アクセス禁止法、セキュリティホール、ファイアウォール	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
14	不正アクセスと詐欺の防止	最も利用機会の多いブラウザのセキュリティ機能を有効に使用するため、設定方法を学び利用形態に合わせた設定ができるようにする。用語：インターネットオプション、Cookie、ソーシャルエンジニアリング、フィッシング詐欺	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
15	情報モラル及びフィードバック	情報社会の問題点と法律、自分を守るための方法について学ぶ。☒ 試験のポイント及びe-Learning実施状況フィードバック 用語：知的財産権、個人情報、インターネット利用上のマナー☒	e-Learningの該当箇所を実施する。	30

科目名	情報処理Ⅱ	対象 単位数 必選	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員	山口 猛		
開講期	Ⅱ		
授業概要	<p>いかなる職業においても必要なパソコン活用能力の習得に向けて、情報処理士の資格取得が目指せることは、ご承知の通りです。昨今の就職活動や就業後のキャリアアップにおいて注目されている、Microsoft Office Specialist Word2019の受験に相当する内容を学びます。授業の後半では、模擬試験プログラムを用いて、アクティブラーニングによる学習に取り組むことで、自分のペースで技術向上を図ることができます。☒</p> <p>☒ 実務経歴：システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務☒ システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算についての授業を行う。☒</p> <p>☒ 間違いの多い箇所の解説を授業で解説することで、フィードバックを行います。☒ また、随時質問を授業内外で受け付け、対面でフィードバックを行います。☒</p> <p>☒ 位置づけ・水準 CD2130</p>		
達成目標	<p>本演習における達成目標は次の通りとする。☒</p> <p>1. Microsoft Office Specialist Word2019スペシャリストレベルの合格に必要なスキルを身につける☒</p> <p>2. Word2019の応用的な利用方法を身につける☒</p> <p>3. Word2019において、操作時の不明点を自分で調べ、解決することができる☒</p> <p>☒ 模擬試験プログラムを実施し、60%以上の理解・正解すること☒ ディプロマポリシーとの関係：知識理解</p>		
受講資格	なし。	成績評価 方法	達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価は学習意欲（随時課題提出）20%、模擬試験プログラム成績80%とする。
教科書	Microsoft Word 2019 対策テキスト&問題集		
参考書	なし。		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。		
オフィスタイム	月曜日 2・4限、芸術館2階 No.3地域創成学科研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、パソコンのセットアップを行う。	パソコンのセットアップ後の、操作方法を復習する。	30
2	文書の作成と管理（1）	テンプレート、PDF作成、外部データインポート、検索、ハイパーリンク、ページ設定、ヘッダー・フッター、頁番号、プロパティ設定、クイックアクセスツールバー設定、アクセシビリティ検査、下位バージョン互換性検査	テキストの実施個所について、再度実施し、復習する。	60
3	文書の作成と管理（2）	2回目と同じ。（テンプレート、PDF作成、外部データインポート、検索、ハイパーリンク、ページ設定、ヘッダー・フッター、頁番号、プロパティ設定、クイックアクセスツールバー設定、アクセシビリティ検査、下位バージョン互換性検査）	テキストの実施個所について、再度実施し、復習する。	60
4	文字、段落、セクションの書式設定（1）	置換、オートコレクト、特殊文字、フォント変更、行の間隔、段落の間隔、配置、インデント、書式コピー、強調表示、ワードアート、組み込みスタイル、ページ区切り、段組み、セクション区切り	テキストの実施個所について、再度実施し、復習する。	60
5	文字、段落、セクションの書式設定（2）	4回目と同じ。（置換、オートコレクト、特殊文字、フォント変更、行の間隔、段落の間隔、配置、インデント、書式コピー、強調表示、ワードアート、組み込みスタイル、ページ区切り、段組み、セクション区切り）	テキストの実施個所について、再度実施し、復習する。	60
6	表やリストの作成（1）	表作成、文字列→表変換、表→文字列変換、テーブルスタイル、データ並び替え、セルの予約、セル結合・分割、サイズ調整、タイトル行繰り返し、箇条書き、段落番号、行頭文字、リストレベル変更	テキストの実施個所について、再度実施し、復習する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	表やリストの作成(2)	6回目と同じ。(表作成、文字列→表変換、表→文字列変換、テーブルスタイル、データ並び替え、セルの予約、セル結合・分割、サイズ調整、タイトル行繰り返し、箇条書き、段落番号、行頭文字、リストレベル変更)	テキストの実施箇所について、再度実施し、復習する。	60
8	参考資料の作成と管理(1)	脚注、文末脚注、資料文献、引用文献、図表番号、目次、表紙	テキストの実施箇所について、再度実施し、復習する。	60
9	参考資料の作成と管理(2)	8回目と同じ。(脚注、文末脚注、資料文献、引用文献、図表番号、目次、表紙)	テキストの実施箇所について、再度実施し、復習する。	60
10	グラフィック要素の挿入と書式設定(1)	図形挿入、スクリーンショット挿入、テキストボックス挿入、アート効果、図の背景削除、図の効果、図のスタイル、オブジェクト書式設定、SmartArt	テキストの実施箇所について、再度実施し、復習する。	60
11	グラフィック要素の挿入と書式設定(2)	10回目と同じ(図形挿入、スクリーンショット挿入、テキストボックス挿入、アート効果、図の背景削除、図の効果、図のスタイル、オブジェクト書式設定、SmartArt)	テキストの実施箇所について、再度実施し、復習する。	60
12	模擬試験(1)	模擬試験の実施と解説。	模擬試験プログラムの実施結果から、不正解箇所の解説動画を閲覧する。	60
13	模擬試験(2)	模擬試験の実施と解説。	模擬試験プログラムの実施結果から、不正解箇所の解説動画を閲覧する。	60
14	模擬試験(3)	模擬試験の実施と解説。	模擬試験プログラムの実施結果から、不正解箇所の解説動画を閲覧する。	60
15	まとめ	総合確認と、Microsoft Office Specialist Word2019スペシャリストレベル 受験計画	授業内で指定する模擬試験について、100%中80%程度の正解率を目指し、実施する。	60

科目名	図書館概論	対象 単位数 必選	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員	和知 剛		
開講期	I		
授業概要	<p>「図書館」とは何か、その意義と役割を、その理念・歴史・教養の3つの面からそれぞれ説き起す。講義の最後に毎回、時間をとってミニットペーパーの記入を求め、質問・意見を受け付け後日回答する。市井においては公共図書館のよき理解者であり利用者、大学においては大学図書館のよき利用者たることを目指す。担当教員はこれまで大学図書館に30年ほど勤務してきた実務経験から得た、専門的な知識および専門的なスキルを活用して、図書館の過去と現在、そして図書館情報学を図書館の現場に活用した未来（これからの図書館）について講義解説していく。☒</p> <p>担当教員は大学図書館に30年勤務し、目録作成や閲覧参考業務の経験がある。☒</p> <p>☒ 位置づけ・水準 CD2110</p>		
達成目標	<p>単位認定の最低基準は、①内容の8割を理解すること、②地域創成学科のディプロマ・ポリシー④にある「専門的知識を活用し、論理的に課題を探究し、他者と協調し問題を解決していく主体的行動力」を修得するための専門知識を学生が身につけることである。</p>		
受講資格	地域創成学科に在籍する1年生。司書ユニット受講の有無は問わない。	成績評価 方法	レポート3割、期末試験7割で評価します。
教科書	『図書館情報学基礎資料』樹村房		
参考書	大学図書館のNDC010-019に排架されている書籍はすべて参考書		
学生への要望	知識を学修する講義です。受講生の無断欠席は講義を受講する意欲がないものとみなすことがある。		
オフィスタイム	毎週月・水・木曜日のそれぞれ2コマ目（10時30分～12時）に図書館情報学研究室まで		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	図書館概論で何を学ぶか 大学の講義でのノートのとり方	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
2	イントロダクション	図書館概論で何を学ぶか いま図書館をめぐって起きていること	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
3	「図書館」が存在する理由	体験の違いによる異なる「図書館」像 社会的共通資本 ユネスコ公共図書館宣言ほか	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
4	近代日本における公共図書館の歴史（その1）	日本の「公共図書館」事始め 「図書館」以前 新思潮としての「図書館」紹介	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
5	近代日本における公共図書館の歴史（その2）	リクエストアワー（第1回）	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
6	近代日本における公共図書館の歴史（その3）	日本の「公共図書館」事始め 新思潮としての「図書館」紹介（続） 「書籍館（しょじやくかん）」の設置 帝国図書館へ	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
7	近代日本における公共図書館の歴史（その4）	日本の「公共図書館」事始め 明治大正期の図書館を支えた「私立図書館」	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
8	近代日本における公共図書館の歴史（その5）	「通俗図書館」という言葉の登場 教育会図書館の設立 東京市立図書館の設立	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	近代日本における公共図書館の歴史（その6）	リクエストアワー（第2回）	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
10	近代日本における公共図書館の歴史（その7）	福島県の図書館事始め	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
11	近代日本における公共図書館の歴史（その8）	図書館法制度のはじまり 大正デモクラシーと公共図書館 関東大震災と図書館	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
12	近代日本における公共図書館の歴史（その9）	文部省図書館員教習所の設立 福島県の公共図書館史（続） 国家による図書館統制の強化 第二次世界大戦 戦後の再建	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
13	近代日本における公共図書館の歴史（その10）	映画「格子なき図書館」（1950）上映と解説	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
14	近代日本における公共図書館の歴史（その11）	図書館法制定後の図書館業界 『中小レポート』の成立 『市民の図書館』の成功	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60
15	近代日本における公共図書館の歴史（その12）	映画「図書館とこどもたち」（1979）上映と解説	本日の講義・配布したプリントで解説した専門用語について、図書館用語集等で復習するとともに、次回の講義として予告したテーマについて最近の動向を確認すること。	60

科目名	日本国憲法	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員	鈴木 康元			
開講期	I			
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☒ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☒ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☒			
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☒ 履修カルテ評価項目☒ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☒ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☒ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☒ ☒			
受講資格	幼児教育学科 1年生	成績評価 方法	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
教科書	憲法【第二版】☒ 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
オフィスタイト	授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 ☒			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	スポーツ実技	対象 単位数 必選	短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員	佐藤 浩明		
開講期	I		
授業概要	GC1115☑ 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性や楽しさを理解し、生涯にわたって自分の健康や体力について配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技を通して学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。☑ ①運動の重要性を理解し、健康との関連について学びます。☑ ②運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。☑ ③運動を通して基礎体力の維持、向上する方法について学びます。☑ ④レポートは口頭またはコメントを書き返却をます。		
達成目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。☑ 【ディプロマ・ポリシーとの関係】☑ ・他との協調 ・人間形成☑ レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。		
受講資格	健康栄養学科 1年生	成績評価 方法	取組姿勢40点 実技試験60点☑ ※本科目は実技科目のため出席、積極的な取組みを重視します)
教科書	特になし（必要に応じて資料等配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者養成テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。☑ 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
オフィスタイム	火、水、木の9:00～16:00まで 創学館N04研究室 佐藤		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分を準備してくる事	30
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】☑ ☑ 【到達目標】☑ *スポーツ種目に必要な技術を習得する☑ *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑ ☑ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑ ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア）☑</p> <p>⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
5	フライングディスク④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
6	フライングディスク④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
8	フライングディスク④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
9	フライングディスク④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
10	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーションを發揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを發揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
12	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
13	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
14	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】☑</p> <p>☑</p> <p>【到達目標】☑</p> <p>*スポーツ種目に必要な技術を習得する☑</p> <p>*コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る☑</p> <p>☑</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	実技のまとめ	≪まとめとして実技試験を行う≫☒ ☒ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

科目名	キャリアデザインII	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員	森 みい		
開講期	I		
授業概要	<p>【授業のねらい】☑ 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白さを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。☑</p> <p>☑ 【授業の概要】☑ インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者をお招きした報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。☑</p> <p>担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し就職指導にあたっております。企業と学生の状況を把握しながら、就職支援には長く携わり、希望に添った将来のキャリアを築く支援をしています。☑</p> GU1122		
達成目標	<p>【授業終了時の達成目標】☑ インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、今後の学生生活の中に活かしていくことで、新たな学習意欲の契機となることをことを目標とします。仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解、責任の重さや成し遂げる充実感や社会への貢献を感じ取る事を目的とします。論理的思考力を身につけ、いつも明るく笑顔で目標を高く持ち、努力を惜しまない人物を育成します。2</p>		
受講資格	特になし	成績評価 方法	就業体験60%・報告会20%・提出物20%☑ 「認」評価判定
教科書	なし		
参考書	なし		
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
オフィスタイム	月曜日 9:00～12:30 水曜日 9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要☑ 4/14(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究しておく。☑ インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え☑ 4/21(Vコマ)	昨年のインターンシップを参考に自分は何を学びたいのか明確な目標を設定していく。	インターンシップを通して、企業や業界の働きについて考える。	30
3	インターンシップの心構え☑ 5/19(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップは具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
4	企業研究(講演)☑ 6/2(Vコマ)	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていくか、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
5	事前指導☑ (ビジネス文書作成)☑ 6/16(Vコマ)	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナーを確認しておく。	30
6	事前指導☑ (マナー講座)☑ 6/30(Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。☑ 就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、☑ 印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30
7	直前指導☑ (インターンシップ先の企業研究)7/14(Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者との打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施☑ 1班8/22～8/24☑ 2班8/29～8/31	各企業において、夏季休業中(8月中旬～下旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	インターンシップ報告会☑ 9/5 (Iコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30
10	インターンシップ報告会☑ 9/5 (IIコマ)	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30

科目名	病理学	対象 単位数 必修	短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 必修
担当教員	大西 弘太郎		
開講期	III		
授業概要	<p>[講義のねらい]☑ 疾患の原因と病態について理解をする。疾患の本質についての科学的根拠を蓄積し、今後の医療に活かす。☑</p> <p>☑ [講義全体の内容の概要]☑ 病理学の総論では、病因、退行性・進行性病変、代謝異常、免疫異常、感染、老化、放射線障害、腫瘍、先天性異常などを学ぶ。各論では、各系統や器官の主要な疾患の病態を学ぶ。☑</p> <p>☑ 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。☑ 実務経歴：医師として医療機関に勤務している。☑</p> <p>☑ 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけでなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。☑</p> <p>☑ 位置づけ・水準 HN2314</p>		
達成目標	単位認定の最低基準：主要な疾患、特に食事や栄養に関連する病態を概説できること。☑ ディプロマ・ポリシーとの関係：食と健康の理解、問題対処能力。		
受講資格	健康栄養学科 2年	成績評価 方法	小テスト (20%)☑ 筆記試験 (80%)
教科書	シンプル病理学・第8版(笹野公伸、岡田保典、安井弥：南江堂)		
参考書	NEWエッセンシャル病理学・第6版(笹野公伸・澤井高志・長村義之：医歯薬出版株式会社)		
学生への要望	病気の原因と病態について日常的に興味を持つようにすること。☑ 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。		
オフィスタイム	臨床医学研究室☑ 月曜日 13:00～17:00。☑ 木曜日 13:00～17:00。☑ 金曜日 08:30～17:00。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	疾患、病因	病因とは病気の原因や成立をいい、外因と内因とがある。外因には生物・物理・化学的因子、栄養学的因子など、内因には代謝・遺伝子・免疫の異常、年齢などがある。	疾患、病因などについて予習・復習をしましょう。	120
2	細胞障害と細胞増殖	細胞の正常な形態や機能、増殖、細胞死を基本知識として、細胞障害による変性、遺伝子障害による疾病の成因と遺伝子修復について学ぶ。	細胞障害、細胞死、細胞増殖などについて予習・復習をしましょう。	120
3	組織、細胞の修復と再生	組織と細胞の再生とその機序を学び、再生の過剰、化生、治癒の様式、異物処理、器質化などを理解する。	再生、化生、過形成、肥大などについて予習・復習をしましょう。	120
4	循環障害	局所循環障害のうっ血、虚血、血栓、出血、梗塞などを学び、心不全、ショック、浮腫などの全身性循環障害の病態生理を理解する。	循環障害について予習・復習をしましょう。	120
5	炎症	炎症の定義と徴候を学び、その原因や炎症細胞、組織変化、組織修復機構を理解する。	炎症について予習・復習をしましょう。	120
6	感染症	病気の原因となる病原体の種類を学び、代表的な感染症の特徴を知る。病原体の感染形態に対する生体防御反応を学び、感染防御対策を考える。	感染症について予習・復習をしましょう。	120
7	免疫機構の異常	生体防御機構の主役である免疫機構を学び、その異常である免疫疾患を理解する。	主な免疫不全、アレルギー、膠原病などについて予習・復習をしましょう。	120
8	腫瘍	腫瘍の概念と病理形態学的特徴を学び、腫瘍の発生と進展、良性と悪性の鑑別、病理診断、疫学などを学ぶ。	腫瘍について予習・復習をしましょう。	120
9	遺伝と先天異常	染色体・遺伝子の構造を学び、その異常による発症の原理を理解する。代表的な染色体異常症や遺伝性疾患について学ぶ。	主な染色体異常、遺伝性疾患などについて予習・復習をしましょう。	120
10	代謝異常	代謝異常が主たる病因ではその病態変化を学ぶ。主要な代謝異常症について説明できるようにする。	主な代謝異常について予習・復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	老化	生命の終末に向けて老化が進む。この老化の特徴とメカニズムを学び、細胞・組織・器官の変化を理解する。	老化について予習・復習をしましょう。	120
12	循環器・造血系・運動器の病理	心臓、血管、骨、筋、骨髄、関節などの主要な病気の病態を学ぶ。	循環器、造血系、運動器などの主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
13	消化器の病理	口腔、消化管、唾液腺、肝臓、胆道系、膵臓などの主要な病気の病態を学ぶ。	消化器の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
14	呼吸器・泌尿器・生殖器の病理	気道や肺、腎臓や膀胱、性腺や子宮などの主要な病気の病態を学ぶ。	呼吸器、泌尿器、生殖器の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
15	神経系・内分泌系・感覚器の病理	脳、脊髄、神経、下垂体、甲状腺、副腎、膵臓、眼、皮膚等の主要な病気の病態を学ぶ。	神経系、内分泌、感覚器などの主要な疾患について予習・復習をしましょう。	120

科目名	食品衛生学	対象 単位数 必選	短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員	澤渡 優喜		
開講期	Ⅱ		
授業概要	<p>〔授業の目的・ねらい〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>栄養士又はフードスペシャリストとして、安全な食品とはどのようなものか？どのように食の安全性が担保されているのかを理解してもらうことを本授業の目的としています。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>食品衛生と法規、食品の変質、食中毒、経口感染症・寄生虫、食品中の汚染・有害物質、食品添加物、食品の衛生管理と食品の安全性問題および食品の容器包装について解説します。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>〔実務経験に関する内容〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>食品企業で乳酸菌を利用した商品の研究開発を行っていました。食品企業での経験をもとに、安全な食品について講義をします。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>〔課題に対するフィードバックの方法〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>授業の項目ごとに確認問題を配布します。確認問題を実施後、模範解答を配布しますので、自己採点后に提出してもらいます。実施状況の確認、評価後に確認問題は返却します。必要に応じてコメントでフィードバックします。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>位置づけ・水準 HN2223</p>		
達成目標	<p>〔達成目標（授業終了時の達成課題）〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>栄養士又はフードスペシャリストとして、普段食べている食品の安全性がどのように担保されているのかを理解しており、また、自ら調理をする場合、食中毒を防ぐためにはどのような点に注意すべきかを理解していることを本授業の達成目標とします。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>〔単位認定の最低基準〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>授業内容の7割程度を理解していること。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>〔ディプロマ・ポリシーとの関係〕 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>食と健康の理解、専門性で社会貢献</p>		
受講資格	短期大学部 健康栄養学科 1年	成績評価 方法	確認問題；40点、期末試験；60点とし、60点以上の得点で単位を認定します。
教科書	<はじめて学ぶ>健康・栄養系教科書シリーズ⑩ 食品衛生学 食の安全性を理解するために（（化学同人）本体2,000円＋税）		
参考書	なし。		
学生への要望	食の安全は私たちにとても身近な事柄です。 ニュースなどで報道される食の安全に関する問題に興味を持ち、積極的に授業に参加して下さい。		
オフィスタイム	火曜日 16:10～17:05 食品衛生学研究室 <input checked="" type="checkbox"/> 木曜日 16:10～17:05 食品衛生学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	食品衛生と法規	食品衛生とは何か？について述べた後に食品衛生行政について概説します。食品衛生に関わる体制や法律などを理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品衛生、食品安全性確保に関する法規（食品安全基本法、食品衛生法、食品表示法など）と行政制度を概説できる。	p1～14をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
2	食品と微生物	私たちの肉眼では見えないほど小さな生物を微生物と呼びます。この微生物は私たちの周囲に存在し有用な微生物もいれば有害な微生物もいます。また、有用でも有害でもない微生物もいます。多くの場合、私たちが食べる食品にも微生物が存在します。本講義では食品に関係する微生物の特徴について解説します。 <input checked="" type="checkbox"/> 微生物の特徴や微生物の増殖条件などを理解して下さい。 <input checked="" type="checkbox"/>	事前に配布するプリントを読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
3	食品の変質	食品の変質には微生物学的な変質（腐敗や酸敗など）と化学的な変質があります。本講義では食品の変質、鮮度判定および変質の防止方法について解説します。変質の種類、判定方法および防止方法を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食費の劣化原因とその防止方法について説明できる。	p17～28をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
4	食中毒の概要	食中毒の定義、分類および発生状況について解説します。食中毒の種類や発生状況の特徴を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食中毒の定義、発生状況について説明できる。	p29～38をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	微生物性食中毒①	サルモネラやノロウイルスなどの微生物が原因となる食中毒について、原因微生物の特徴、主な原因食品、症状および予防策などについて解説します。原因微生物の種類、原因食品、症状および予防策を理解して下さい。☒	p38～47をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
6	微生物性食中毒②	同上。☒ 〔学修目標〕 ・病原微生物による食中毒の原因や主な汚染源、症状、予防法について説明できる。	p47～58をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
7	化学性食中毒と自然毒食中毒	化学物質の混入や食品の変質で発生する化学物質が原因となる化学性食中毒およびフグ毒や毒キノコなどの自然毒食中毒について解説します。☒中毒の原因物質名や食中毒の発生原因を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・自然毒および化学性の食中毒の原因や主な汚染源、症状、予防法について説明できる。	p58～71をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
8	食中毒の予防と消毒・殺菌・滅菌 経口感染症・人畜共通感染症	食中毒予防の基本的な考え方および微生物の消毒・殺菌・滅菌方法について解説します。食中毒予防法と消毒・殺菌・滅菌の実際の手段を理解して下さい。 主な経口感染症と人畜共通感染症について解説します。原因微生物の種類、感染源および症状を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品による感染症（人畜共通感染症を含む）とその予防法について説明できる。	p71～74をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。 p77～80、p87～88をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
9	寄生虫症	食品の種類によっては、寄生虫に注意をしなければなりません。魚介類、畜肉類、野菜・果実類・水などから感染の恐れのある寄生虫について解説します。特に、寄生虫の種類と原因食品を理解して下さい。☒ 〔学修目標〕 ・食品による寄生虫症とその予防法について説明できる。	p80～87をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
10	食品中の汚染・有害物質	食品に関連する有害物質として、カビ毒、化学物質、内分泌攪乱物質、有害金属、放射性物質、加熱調理で生成する有害成分および食物アレルギーについて解説します。各有害物質の名前と特徴を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食物アレルギーの原因食品について説明できる。 ・食品汚染物質（カビ毒、有害元素、放射性物質、農薬など）について説明できる。	p91～105をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
11	食品添加物（1）（総論）	食品添加物の役割、安全性、使用基準および表示について解説します。食品添加物の使用基準の決定方法の理解は必須ですが、表示のルールも複雑なので正しく理解をするようにして下さい。☒ 〔学修目標〕 ・食品添加物の安全性について説明できる。	p107～111、p119～124をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
12	食品添加物（2）（各論）	食品添加物（1）に続き、各食品添加物の機能や特徴などについて解説します。食品添加物の使用目的を理解して下さい。☒ 〔学修目標〕 ・食品添加物の種類と用途について説明できる。	p111～118、p124～125をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	食品衛生管理	<p>食中毒を発生させないためには、どのようなことに注意をして調理や食品加工をすべきか？本講義では、食品取扱施設や家庭などでの一般的な衛生管理の考え方について解説します。更に、HACCPについても解説します。食中毒を防止するための考え方を理解して下さい。☑</p> <p>〔学修目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生管理（一般的衛生管理プログラム、HACCPなど）について説明できる。 	<p>p127～135をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。</p>	60
14	食品の安全性問題	<p>遺伝子組換え食品、放射線と食品、農薬と食品およびリスク分析と食品の安全性に関する国際化について解説します。それぞれの安全性問題について理解して下さい。☑</p> <p>〔学修目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品のハザード（危害要因）とリスクについて説明できる。 ・食品衛生、食品の安全性確保に関するリスク分析（リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション）の考え方を説明できる。 	<p>p137～154をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。</p>	60
15	その他	<p>その他として、食品に使用する包装資材の種類と用途、食品による窒息事故リスクについて説明します。</p> <p>〔学修目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品による窒息とその予防について説明できる。 	<p>事前に配布するプリントをよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。</p>	60

科目名	日本国憲法	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員	鈴木 康元			
開講期	I			
授業概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☑ 履修カルテ評価項目☑ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☑ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☑ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☑ 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。☑ 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。☑			
達成目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。☑ 履修カルテ評価項目☑ ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。☑ ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。☑ ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。☑ ☑			
受講資格	幼児教育学科 1年生	成績評価 方法	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
教科書	憲法【第二版】☑ 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
オフィスタイト	授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 ☑			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下での平等の意義☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげながら教える☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所☑	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	キャリアデザインII	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員	森 みい		
開講期	I		
授業概要	<p>【授業のねらい】☑ 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白さを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。☑</p> <p>☑ 【授業の概要】☑ インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（3日間）、および、受け入れ企業のご担当者をお招きした報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。☑ 担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し就職指導にあたっております。企業と学生の状況を把握しながら、就職支援には長く携わり、希望に添った将来のキャリアを築く支援をしています。☑ GU1122</p>		
達成目標	<p>【授業終了時の達成目標】☑ インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、今後の学生生活の中に活かしていくことで、新たな学習意欲の契機となることをことを目標とします。仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解、責任の重さや成し遂げる充実感や社会への貢献を感じ取る事を目的とします。論理的思考力を身につけ、いつも明るく笑顔で目標を高く持ち、努力を惜しまない人物を育成します。2</p>		
受講資格	特になし	成績評価 方法	就業体験60%・報告会20%・提出物20%☑ 「認」評価判定
教科書	なし		
参考書	なし		
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
オフィスタイム	月曜日 9:00～12:30 水曜日 9:00～12:30 事前にご相談いただければそれ以外でも対応します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要☑ 4/14(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出をする。インターンシップに必要な書類についての確認する。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究しておく。☑ インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え☑ 4/21(Vコマ)	昨年のインターンシップを参考に自分は何を学びたいのか明確な目標を設定していく。	インターンシップを通して、企業や業界の働きについて考える。	30
3	インターンシップの心構え☑ 5/19(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップは具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
4	企業研究(講演)☑ 6/2(Vコマ)	身近な若き経営者の講演を実施する。社会と協働する中で、人間力や就業観の醸成及び学習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていくか、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
5	事前指導☑ (ビジネス文書作成)☑ 6/16(Vコマ)	メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナーを確認しておく。	30
6	事前指導☑ (マナー講座)☑ 6/30(Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。☑ 就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、☑ 印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30
7	直前指導☑ (インターンシップ先の企業研究)7/14(Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者との打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施☑ 1班8/22～8/24☑ 2班8/29～8/31	各企業において、夏季休業中(8月中旬～下旬)に3日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	インターンシップ報告会☑ 9/5 (Iコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30
10	インターンシップ報告会☑ 9/5 (IIコマ)	事後報告会として、代表者の報告を企業の方も参加して実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会で発表し、報告者の発表から課題を考えていく。	30

科目名	子どもの保健	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 1年2単位 選択
担当教員	永瀬 悦子		
開講期	Ⅱ		
授業概要	子どもの健康の保持・増進と精神安定を図るために必要な子どもの保健について学ぶ。子どもの心身の発育発達には個性があることを踏まえ、子どもに多い疾患と体調不良時の症状に対する対処法について学修する。助産師・看護師として医療機関勤務および乳幼児健診等をしてきた経験を活かして講義を行う。現代社会における子どもを取り巻く健康問題と課題について学ぶ。更に、家庭と地域の連携を通じた保健活動及びその関係機関との連携についても学ぶ。 【課題に対するフィードバック方法】最終授業で全体に対するフィードバックを行う。 【授業の目的】☑ 健康の保持・増進と精神の安定を図る保育において、子どもの保健の基礎的な知識・技術内容・子どもにかかわる姿勢(心)を理解する。 【位置づけ・水準】CE2113		
達成目標	1)子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解し、保育保健を総合的に計画・実践について説明できる 2)子どもの発育発達には個性があることを踏まえその支援内容について説明できる 3)子どもの心身の健康状態とその把握の方法を述べることができる 4)体調不良の子どもの観察とその対応について説明できる。ディプロマポリシーとの関係から「保育の内容理解と総合計画力」「子どもの発達の理解と支援の力」「保育の方法と技術力」「問題解決力」を身に付けることを達成目標とする。これらのことを7割達成すれば単位認定とする。		
受講資格	保育士資格取得を希望する学生	成績評価 方法	筆記試験80点・レポート20点
教科書	飯島一誠監修『保育者のためのわかりやすい子どもの保健』総合医学社 2019年☑ ※資料を毎回配付		
参考書	『保育所保育指針』フレーベル館 2017年		
学生への要望	子どもの成長・発達の基礎的な知識をもとに、その健康を逸脱した過程における対応、健康課題に関する知識を学ぶ。講義は積極的に臨むことを期待する。		
オフィスタイム	火曜日 V時限 (16:10~17:40) 832研究室☑ 木曜日 I時限 (8:50~10:20) 832研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	子どもの心身の健康と保健の意義 1	1)生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的 2)目的健康の概念と健康指標 3)現代社会における保健活動と子どもの健康に関する現状と課題 ※保育所における保健活動が、生命の保持と情緒の安定にどのようにつながっているのかを考え養護と教育を一体的に行う意味や「健康」「人間関係」「環境」「表現」における目標や保育の重要性を学ぶ。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子どもの健康問題について調べる	120
2	子どもの心身の健康と保健の意義 2	1)地域における保健活動と子どもの虐待防止 2)虐待に関する法律と保健活動学ぶ ※虐待に関わる諸統計からみる現状を理解する。更に、これらに対する母子保健の施策や体系、支援を開発する。そして保育者について求められる知識や取組みを考える。	新聞記事や書籍等で「虐待」について調べる	120
3	子どもの身体的発育・発達と保健 1	1)子どもの身体発育の評価と成長に影響を及ぼす因子 2)発達の順序と原始反射 ※発育・発達の目安となる指標を理解し、その発育状態の評価方法をその意義を学ぶ。	子どもの原始反射の種類及び発達について教科書を読む。	120
4	子どもの身体的発育・発達と保健 2	1)子どもの生理機能の発達と保健 ※各器官の生理的機能とその成長過程について理解を深める。	教科書をよく読み学びを深める	120
5	子どもの身体的発育・発達と保健 3	1)新生児の特徴 2)母と子の心と身体をつながり ※新生児の特徴を理解し母子相互作用等についても学ぶ。	自分および身近な子どもの誕生について聞いてまとめる。	120
6	子どもの心身の健康状態とその把握 1	1)子どもの健康状態の観察 2)心身の不調時の早期発見 3)発育・発達の把握と健康診断 4)保護者との情報共有 ※子どもの健康状態を観察し、表情や行動、しぐさ等も大切な観察点であることを学ぶ。体調不良時に早急に対応をして受診か否かの判断を求められることを理解する。また、保護者との情報共有する大切さを学ぶ。	「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」(平成30年3月厚生労働省)における「子どもの症状をみるポイント」31~33頁をよく読む。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	感染経路と保健活動	1)感染症と要因 2)感染経路と対策 3)学校保健安全法施行規則19条について 4)感染症の疑いのある時と発生時の対応 ※感染症の要因と感染経路・対策の基礎的知識を理解し、感染症の疑いのある子どもに対する対応を学ぶ。学校保健安全法にある感染症の種類と登園停止期間を学ぶ。	「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」(平成30年3月厚生労働省)1～30頁をよく読む。	120
8	子どもの疾病の予防及び適切な対応 1	1)子どもの代表的な感染症①	課題レポートをまとめる	120
9	子どもの疾病の予防及び適切な対応 2	1)子どもの主な病気の特徴(呼吸器系、循環器系、消化器系、血液系)	教科書をよく読み学びを深める	120
10	子どもの疾病の予防及び適切な対応 3	1)子どもの主な病気の特徴(泌尿器系、生殖器系、内分泌系)	教科書をよく読み学びを深める	120
11	子どもの疾病の予防及び適切な対応 4	1)子どもの主な病気の特徴(皮膚、神経系、骨・関節・筋肉系、感覚器系)	教科書をよく読み学びを深める	120
12	子どもの疾病の予防及び適切な対応 5	1)子どもの主な病気の特徴(アレルギー・免疫系)	教科書をよく読み学びを深める	120
13	子どもの疾病の予防及び適切な対応 6	1)発熱、脱水、咳嗽、喘鳴の症状観察と適切な対応 ※子どもの健康状態の観察の方法及び主な症状(発熱・脱水咳嗽・喘鳴)の見方と対処法について学ぶ。	「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」(平成30年3月厚生労働省)72頁、75頁をよく読む。	120
14	子どもの疾病の予防及び適切な対応 7	1)腹痛、下痢、嘔吐、便秘の症状観察と適切な対応 ※子どもの健康状態の観察の方法及び主な症状(腹痛、下痢、嘔吐、便秘)の見方と対処法について学ぶ。	「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」(平成30年3月厚生労働省)73～74頁をよく読む。	120
15	子どもの疾病の予防及び適切な対応 8	1)けいれん、熱中症、鼻出血、耳の異物、虫刺され、発疹の症状観察と適切な対応 ※子どもの健康状態の観察の方法及び主な症状(けいれん、熱中症、鼻出血、耳の異物、虫刺され、発疹)の見方と対処法について学ぶ。	「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」(平成30年3月厚生労働省)76頁、関係法規84～93頁をよく読む。	120

科目名	子どもの健康と安全	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 2年 1単位 選択
担当教員	永瀬 悦子		
開講期	Ⅲ		
授業概要	<p>「子どもの保健」で学んだ内容を基礎として、保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学修する。助産師・看護師として医療機関勤務および乳幼児健診等をしてきた経験を活かして、子どもの体調不良等に対する適切な対応、感染症対策、健康及び安全管理の体制について学修する。☑</p> <p>【課題に対するフィードバック方法】最終授業で全体に対するフィードバックを行う。☑</p> <p>【授業の目的・ねらい】☑</p> <p>「子どもの保健」の基礎知識をもとに、保育現場で実践できる子どもの健康管理や成長・発達を促す養護技術・保育における健康及び安全管理について知識・技術を学ぶ。☑</p> <p>【位置づけ・水準】CE2241</p>		
達成目標	<p>1)保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について総合的に計画・実践内容を述べるができる</p> <p>2)保育における子どもの発達を理解し、衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策の支援について説明できる。</p> <p>3)子どもの体調不良等に対する適切な対応方や技術について述べるができる。</p> <p>4)保育における感染症対策について説明できる。</p> <p>5)保育における保健の学修した知識や技術を統合し、子どもの健康が逸脱した時の問題解決方法を説明できる。</p> <p>6)子どもの健康及び安全管理に関わる組織的取組や保健活動の根底には幅広い教養と豊かな人間性や規範意識があることを説明できる ディプロマポリシーとの関係から「保育の内容理解と総合計画力」「子どもの発達の理解と支援の力」「保育の方法と技術力」「豊かな人間性と規範意識」「問題解決力」「表現力とコミュニケーション能力」を身に付けることを達成目標とする。これらのことを7割達成すれば単位認定とする。</p>		
受講資格	保育士資格取得を希望する学生	成績評価 方法	筆記試験60点、レポート40点
教科書	<p>松本峰雄監修『子どもの保健と安全演習ブック』ミネルヴァ書房 2020年☑</p> <p>咲間まり子編著『コンパス乳児保育』建帛社 2018年☑</p> <p>※随時、資料配布</p>		
参考書	『保育所保育指針』フレーベル館 2017年		
学生への要望	乳幼児のケアをおこなうためには、根拠のある確かな知識（頭）、愛情や相手を思いやる心、適切で正確な技術（技）が大切である。講義は積極的にのぞむことを期待する。		
オフィスタイム	<p>火曜日 Ⅲ時限（12：50～14：30） 832研究室☑</p> <p>木曜日 Ⅰ時限（8：50～10：20） 832研究室</p>		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	感染症対策	1)感染症の集団発生の予防 2)感染症発生時と罹患後の対応 ※長時間生活する保育所等の施設は、子どもたちにとり過ごしやすく、安全・衛生的な環境を整えることの大切さを理解する。病気の予防や感染症拡大を防止する衛生管理を学ぶ。	『2018年改訂版、保育所における感染症対策ガイドライン』（平成30年3月厚生労働省）をよく読む	60
2	子どもの体調不良等に対する適切な対応①	1)子どもの状態観察と評価 ※子どもの生理機能を理解して、子どもの状態観察と評価を学ぶ。	教科書をよく読み学びを深める	60
3	子どもの体調不良等に対する適切な対応②	1)薬の与薬 2)体調不良や傷害が発生した場合の対応 ※健康状態の観察と薬の与え方について学び、正しく行うことを身につける。	家庭生活にある薬の種類と使用方法を調べる	60
4	子どもの体調不良等に対する適切な対応③	1)救急処置や救急蘇生法 2)応急処置 ※乳幼児救急蘇生法の方法について理解し、包帯や三角布を利用した応急処置の実技の体験学習をする。	救急蘇生法について教科書を用いて学修する	60
5	保育における健康及び安全管理	1)保育における保健的対応の基本的な考え方 2)保育における健康を促進する関わり 3)個別的な配慮を要する子ども・障害のある子どもへの対応 ※慢性疾患やアレルギー疾患等をもちながら生活する子どもと家族支援の方法を学ぶ。子どもなりの成長・発達とは何かを考える。	教科書をよく読み学びを深める	60
6	保育における保健的対応	1)衛生管理 2)事故防止及び安全対策3)危機管理と災害への備え ※教育・保育施設における事故防止と安全対策の必要を理解し、危機管理と災害への備えの重要性を学ぶ。	『教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン』（平成28年3月、内閣府・文部科学省・厚生労働省）をよく読む	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	健康及び安全の管理の実施体制	1)職員間の連携・協働と組織的取組 2)保育における保健活動の計画及び評価 3)母子保健・地域保健における自治体との連携 4)家庭、専門機関、地域の関係機関との連携 ※子どもの育ちや子育て支援制度、地域の社会資源や関係機関について理解する。	『保育所におけるアレルギー対応ガイドライン』(平成23年3月厚生労働省)をよく読む	60
8	保健的観点を踏まえた保育環境及び援助	1)子どもの健康と保育環境(身体計測と評価) 2)子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全管理 3)子どもの生活習慣と心身の健康増進を図るための健康管理 ※子どもの健康の維持・増進にむけ保健計画を作成し、職員全体でねらいと目的を共通理解して実践していくことを理解する。保健計画および成長・発達の評価の資料となる身体計測の技術と留意点を学ぶ。	子どもの健康を増進するために必要な「保健たより」を作成する	60

科目名	教育・保育課程論	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 1年2単位 選択
担当教員	山上 裕子		
開講期	Ⅱ		
授業概要	<p>生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育において、幼児期にふさわしい教育・保育課程はどのようなものか。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を基準にした計画を立てられるために必要な基礎を講義する。具体的には、教育・保育課程の役割や意義、編成の方法、指導案の作成、カリキュラム・マネジメントなどを取りあげる。また附属幼稚園での勤務をもとに、実際の保育現場での子どもの姿等や保育者の関わりの様子をスライドやビデオなどで示しつつ、具体的な子どもの姿や保育についての現代的な課題についての話題を提供し、指導計画作成のイメージがつくように活動グループ・ワークを行いつつ、現場に直結する力を身につけていく。なお、最終授業で全体に対するフィードバックを行う。☑</p> <p>実務経験（賀門博康）：幼稚園教諭（現在は園長）として郡山女子大学附属幼稚園に勤務 位置づけ・水準 CE2115</p>		
達成目標	<p>本科目は、ディプロマ・ポリシーの「保育の内容理解と総合的計画力」と「保育の方法と技術力」に対応している。</p> <p>☑</p> <p>①教育・保育課程の役割と意義を、7割以上理解できたか。☑</p> <p>②教育・保育課程の編成と指導計画の作成方法について、7割以上理解できたか。☑</p> <p>③教育・保育課程のマネジメントの必要性を、7割以上理解できたか。</p>		
受講資格	原則として、幼稚園教諭二種、保育士資格取得希望者	成績評価 方法	授業参加度30% レポート70%
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） ☑ ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省） ☑ ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府） ☑ ・古林ゆり（監修・執筆）『0～5歳児年齢別 実習の日誌と指導案 完全サポート』新星出版社、2017年 		
参考書	・その他、授業中に適宜プリントを配布する。		
学生への要望	<p>授業用のノートを用意すること。☑</p> <p>欠席、遅刻はしないようにすること。☑</p> <p>指導計画の作成にはイメージの豊かさが大事である。授業内容に沿った気づきや発想を、積極的に発言すること。</p>		
オフィスタイム	<p>山上 木曜日：14：30～16：00 833研究室 ☑</p> <p>金曜日：12：50～14：20 833研究室 ☑</p> <p>賀門 月～金曜日 10：00～11：30 附属幼稚園応接室 ☑</p> <p>15：00～17：00 附属幼稚園応接室</p>		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション (担当：山上 裕子)	・講義内容について説明を受け、到達目標や評価方法を確認する。保育活動がどのように行われているのか、気づいたことを共有する。	事前にシラバスを確認し、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の記載を概観する。	60
2	教育・保育課程とは何か (担当：山上 裕子)	・カリキュラムの発生を知ることとおして、経験カリキュラムについて学ぶ。また、我が国日本で告示された教育要領等の学校教育における位置づけや性格を学び、教育課程等を作成する必要性について考える。	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の内容を確認する。	60
3	教育要領の変遷 (担当：山上 裕子)	・戦後「保育要領」として生まれ、「幼稚園教育要領」として今日まで改訂されてきた変遷を知る。その際、社会からの要請が関連していたことを理解する。また、同時に「保育所保育指針」の変遷についても学ぶ。これまで学んだことをまとめる。	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の変遷をまとめる。	60
4	教育課程・指導計画の種類 (担当：賀門 博博)	・保育三法令(幼稚園教育要領・保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領)について、29年度の改訂版をもとに、それぞれの内容と関連性を話しつつ、「3つの視点(0歳)」「5領域(1～5歳)」「10の姿」などのキーワードを学び、保育の置けるその位置づけを理解する。	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」で要となる「3つの視点(0歳)」「5領域(1～5歳)」「10の姿」について、語彙等を理解する。	60
5	子どもの多面的な理解(5領域・10の姿等から) (担当：賀門 博博)	・5領域や10の姿等の内容を照らし合わせながら、子どもの姿や日々の生活・体験が子ども達の成長にとってどういった意味を持つのかについて、ビデオなどの視聴をつつ、理解を深める。	「5領域」及び「10の姿」といった観点の存在について理解する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	指導計画の構成について①（担当：賀門 康博）	・指導計画はどういった構成になっており、それぞれがどういった関係であるのかについて、全体像を理解する。また、構成要素のうち、「子どもの姿」「ねらい」「内容」について掘り下げ、その意味を理解する。	指導計画における「子どもの姿」「ねらい」「内容」についてそれぞれの意味と違いを理解する。	60
7	指導計画の構成について②（担当：賀門 康博）	・前回に続き、指導計画の構成について学ぶ。全体の構成を考えつつ、構成要素のうち「環境の構成」「予想される子どもの姿」「保育者の援助・配慮」について掘り下げ、その意味を理解する。	指導計画における「環境の構成」「予想される子どもの姿」「保育者の援助・配慮」についてそれぞれの意味と違いを理解する。	60
8	指導計画作成の実際①（子どもの姿①）（担当：賀門 康博）	・前回までに学んだ指導計画の全体像の理解を踏まえ、以後4回にわたり各論的にワークを行い、実際の記述の仕方などを学ぶ。この回では指導計画の基礎となる「子どもの姿」について、“個の理解”と“全体の理解”の重要性について学ぶ。また、ビデオなどを用いながら行動観察などでのポイントやその意味を理解する。	子どもの定型的な発達を姿を理解しつつ、各年齢において重要とされる関わりについてポイントを理解する。	60
9	指導計画作成の実際①（子どもの姿②）（担当：賀門 康博）	・前回から引き続き、子どもの姿についてのワークを行う。実際に実習でクラス担当になり、部分実習などで全体への指導を行う際に、クラス全体の状態をどのように指導計画に反映させるかについて、幾つかの視点を提示しつつ、指導計画への記述について理解する。	個の発達の姿を理解しつつ、集団保育の中で重要とされる関わりについてポイントを理解する。	60
10	指導計画作成の実際②（ねらい・内容）（担当：賀門 康博）	・前回に引き続きワークを行う。この回では、子どもの姿を踏まえた上で、どのように「ねらい」や「内容」を立てていくかについてそのポイントを学び、指導計画への記述の手順などを理解する。	子どもの姿をもとにした「ねらい」の立て方について、5領域等の視点を持った考え方のポイントを理解する。	60
11	指導計画作成の実際③（環境設定・予想される子どもの姿）（担当：賀門 康博）	・前回に引き続きワークを行う。この回では、前回理解したねらいや内容に準じて、どういった形で「環境構成」をし、「子どもの姿を予想する」かについてそのポイントを学び、指導計画への記述の手順などを理解する。	「ねらい」を実現するために必要な「環境構成」と「子どもの予想される姿」について、記載の項目とポイントを理解する。	60
12	指導計画作成の実際④（保育者の援助・配慮）（担当：賀門 康博）	・前回に引き続きワークを行う。この回では、活動の内容や予想される子どもの姿に対して、ねらいを達成するための「保育者の援助や配慮」についてそのポイントを学び、指導計画への記述の手順などを理解する。	「予想される子どもの姿」に対して保育者としての関わり方(援助・配慮)の重要性について理解する。	60
13	カリキュラム・マネジメントについて①（担当：賀門 康博）	・これまでに学んだ指導計画(部分指導・一日指導)が、子どもたちの日々の成長の中でどういった見通しをもって作成されるべきであるかについて、より長期的な教育課程との関連や、小学校との連携(指導要録の作成)の意味と関連させながら学ぶ。	保育における現代的な課題について概観する。	60
14	カリキュラム・マネジメントについて②（担当：賀門 康博）	・カリキュラムの評価や発達や環境の違いに応じて、柔軟に対応(ネージメント)していくことの大切さを知る。	PDCAサイクルについて理解し、現代的な課題に対して指導計画を体操させていく重要性を理解する。	60
15	まとめ（担当：山上 裕子）	・これまで授業で学んできたことを、実習で経験したことをとおして振り返り、教育・保育課程の役割や意義等を再確認する。	ノートやプリントを整理し、幼稚園実習及び保育実習に向けて基礎となる視点を再確認する。	60

科目名	健康教育論	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 2年 2単位 選択
担当教員	永瀬 悦子		
開講期	IV		
授業概要	<p>現代の子どもを取り巻く生活環境の課題を理解し、子どもの健康課題を理解していくための健康教育について学ぶ。特に、子どもの健康に関する生活習慣や心身の発育発達の特徴を理化学し、適切な指導方法を身につける。助産師・看護師・看護教員として医療機関勤務経験・看護学校勤務経験を活かし講義を行う。また、医療機関勤務時代に地域において健康教育を実践してきた経験も活かし授業を行う。受講生は講義だけではなくアクティブラーニングを取り入れ受講生が自分の考えを発表する場を設ける。最後に、受講生が健康教育(ロールプレイ)を発表し、その評価を行う。</p> <p>【課題に対するフィードバックの方法】最終授業で全体に対するフィードバックを行う。</p> <p>[授業の目的・ねらい]☒</p> <p>教育の専門職として子どもの健康課題を捉え、その課題を解決する方法を考え実践する。【位置づけ・水準】 ES2218</p>		
達成目標	<p>1) ☒どもの健康的な生活や発育発達に対する基礎的な知識を理解できる。</p> <p>2) 現代社会における子どもの健康を阻害する要因を分析できる。☒</p> <p>3) ☒どもの健康課題を解決していくための教育を説明できる。</p> <p>4) 子どもの健康課題を解決および健康の維持増進のための健康教育を実践できる。</p> <p>ディプロマポリシーとの関係から「専門的学識」「社会貢献力」を身につけることを達成目標とする。これらのことを7割達成すれば単位認定とする。</p>		
受講資格	幼児教育学科 幼児教育学専攻2年生	成績評価 方法	ペーパー試験(50%) 課題発表(50%)
教科書	浮田咲子・町田太郎編著『新・保育内容 健康』教育情報出版		
参考書	重安智子・安見克夫編著『保育内容 健康』ミネルヴァ書房		
学生への要望	主体的な問題解決能力、思考力、表現力等が求められます。授業は積極的姿勢を大切にしましょう。		
オフィスタイト			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	本授業の目的と意義	『幼稚園教育要領 平成29年3月告示 文部科学省』『保育所保育指針 厚生労働省』『幼保連携型連携認定こども園・保育要領 内閣府・文部科学省・厚生労働省』を使用して「ねらい」と「目標」を確認する。それを踏まえ、子どもの健康の概念を理解する。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
2	現代の子どもを取り巻く生活環境と健康課題	現代社会との関連から子どもの実態と課題を見出す。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
3	子どもの生活リズムと睡眠・覚醒リズム	子どもの生活リズムと睡眠・覚醒リズムを理解する。また、現在の子どもの生活リズムについて理解し健康課題を見出す。更に、その健康課題を解決するために必要な保育・教育を考える。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
4	子どもの食生活・食育	子どもの食生活を理解し、現代の子どもの「食」に関する健康課題を見出す。また、その健康課題を可決するための必要な保育・教育を考える。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
5	子どもの体力・運動能力	子どもの体力・運動能力を理解し、現代の子どもの体力・運動能力を理解し、その課題を解決するために必要な保育・教育を考える。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
6	子どもの遊び・子どもに関するメディア	子どもの遊び・子どもに関するメディアによる健康被害を理解し、現代の子どもの「遊び・メディア」に関する健康課題を見出す。また、その健康課題を解決するために必要な保育・教育を考える。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
7	子どもを取り巻く課題	これまでに学習してきたことを踏まえ、現代の子どもを取り巻く健康課題を見出す。また、その健康課題を解決するために必要な保育・教育を考える。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
8	健康教育の準備・計画・展開・評価について	健康課題を解決するための健康教育の計画立案をする。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
9	教材作成(1)	子どもを対象とした健康教育の指導計画の立案に基づき教材作成をする。	新聞記事や書籍、ニュース等を通して、現代の子ども健康問題について調べる。	120
10	教材作成(2)	子どもを対象とした健康教育の指導計画の立案に基づき教材作成をする。	健康教育の教材制作	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	教材作成(3)	子どもを対象とした健康教育の指導計画の立案に基づき教材作成をする。	健康教育の教材制作	120
12	教材作成(4)	子どもを対象とした健康教育の指導計画の立案に基づき教材作成をする。	健康教育の教材制作	120
13	健康教育の実践(1)	授業において健康教育を発表して評価をする。その評価を基に修正する。※ロールプレイ	健康教育を効果的に実践するための方法を追求する。	120
14	健康教育の実践(2)	授業または就学前施設において、健康教育を実際に発表して評価する。※ロールプレイ	健康教育を効果的に実践するための方法を追求する。	120
15	まとめと今後の課題	一連の教育実践の過程で、今後必要な課題を見出し改善策について考える。	実践の振り返りをする。	120

科目名	パソコン実務演習	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	山口 猛		
開講期	Ⅱ		
授業概要	<p>授業の概要</p> <p>パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。具体的には、子どもや家庭を対象とした情報モラル教育を題材として、一貫した資料作成・アンケート調査・データ集計・プレゼンテーション資料の作成を行う。実務で求められる業務資料作成に必要な文書作成ソフトの技能を学習する。また、表計算ソフトを用いた集計方法とグラフ作成を理解し、データ集計の基礎を身に付ける。最後に、プレゼンテーションソフトを用いた表現方法と動画作成技法を学ぶ。全体を通して、学修者自身の独自性を活かした資料作成・データ集計・プレゼンテーションを行うアクティブラーニング形式であるため、ここによって成果物の内容は異なる。</p> <p>実務経歴：システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務 システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算についての授業を行う。</p> <p>間違いの多い箇所の解説を授業で解説することで、フィードバックを行います。 また、随時質問を授業内外で受け付け、対面でフィードバックを行います。</p>		
達成目標	<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報モラルを把握していること 2. 実務で求められる文書作成ソフトの操作ができること 3. 独自性を持った資料作成を行うための創意工夫ができること 		
受講資格	幼教専攻科1年生	成績評価 方法	達成目標の到達度合いは課題により評価する。評価の比率は資料作成演習を30%、データ集計演習を30%、プレゼンテーション演習を40%とする。
教科書	なし、適宜資料を配布する。		
参考書	なし、適宜資料を配布する。		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。		
オフィスタイム	月曜日2・4限, 芸術館2階 No.3地域創成学科研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業内容を説明と、パソコンの基本設定を確認する	パソコンの基本設定を正しく実施する	30
2	情報モラルの理解	子どもの情報モラルに関する現状を理解する。統計資料や、子ども・保護者向け情報モラル講習の内容を踏まえて、課題にも触れる。	子どもの情報モラル状況を理解できるよう、配布資料を用いて復習する。	60
3	情報モラルの指導	第2回で学習する情報モラル教育の具体例として、タイムマネジメントとリスクマネジメントを理解する。	自分のタイムマネジメント・リスクマネジメントを作成する。	60
4	著作権・肖像権	教材や資料作成で注意すべき、著作権や肖像権について学ぶ。特に、最近では園の活動の様子をホームページ公開する次回以降の資料作成で必要な対策を理解する。	著作権・肖像権の法律を正しく理解できるよう、復習する。	60
5	資料作成演習(1)	情報モラルの現状を保護者調査するためのアンケート用紙を想定し、フォント・インデント・挿入・PDF等の機能理解を行い、文書作成演習を行う。(学習機能:オートコレクト、特殊文字、フォント変更、行の間隔、段落の間隔、配置、インデント、書式コピー、強調表示、ワードアート、ページ区切り、段組みなど)	授業内で終わらない資料作成を行う。	60
6	資料作成演習(2)	第5回の続き(学習機能:表作成、ページ設定、ヘッダー・フッター、頁番号、PDF作成など)	授業内で終わらない資料作成を行う。	60
7	資料作成演習(3)	完成したアンケート用紙の講評と、改善点の確認及び修正を行う。	授業内で終わらない資料作成を行う。	60
8	データ集計演習(1)	第7回までに作成したアンケート用紙を用いたアンケートの模擬実施、および表計算ソフトでのデータ集計を行う。(学習機能:テーブル作成・管理・スタイル・レコード抽出並び替えなど)また、などクラウドサービスを用いたWEBアンケートを紹介する。	授業内で終わらないデータ集計を行う。	60
9	データ集計演習(2)	第8回の続き(学習機能:関数・条件付き書式・グラフ作成など)	授業内で終わらないデータ集計を行う。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	プレゼンテーション演習（1）	完成した集計結果を用いて、子どもや保護者に対する情報モラル教育の指導内容を検討する。指導内容は、次回以降作成するプレゼンテーションスライドの基となる。	授業内で終わらないプレゼンテーション資料を作成する。	60
11	プレゼンテーション演習（2）	アンケート子どもや保護者向けを想定したプレゼンテーション用スライド作成演習を行う。（学習機能：挿入、アニメーション、録画など）	授業内で終わらないプレゼンテーション資料を作成する。	60
12	プレゼンテーション演習（3）	第11回の続き（学習機能：挿入、アニメーション、録画など）	授業内で終わらないプレゼンテーション資料を作成する。	60
13	プレゼンテーション演習（4）	第12回の続き（学習機能：挿入、アニメーション、録画など）	授業内で終わらないプレゼンテーション資料を作成する。	60
14	プレゼンテーション演習（5）	作成したプレゼンテーションを用いた発表を行う	プレゼンテーションの自己リハーサルを行う。	60
15	振り返り	これまでの学習内容を振り返り、総括する。	自分の成果物を振り返り、理解度合を把握する。理解不足の箇所は、復習する。	60

講義要目

(専攻科幼児教育学専攻)

科目名	必・選	担当教員	単位数	履修年次	授業形態
保育課程特論	必	講師 賀門康博19 講師 奥美代20	2	1年次 前期	講義
授業概要	<p>この授業では、基本的には理論をもとにしつつ、実際の保育現場におけるカリキュラムマネジメントの在り方について学修していく。教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領において「「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ教育課程を編成すること、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各幼稚園の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）と示されている点からも、園の組織と共に保育者自身が教育課程を編成していく事が重要であり、授業を通してその力を身につけていく。</p> <p>実務経験：幼稚園教諭（現在は園長（賀門）、副園長（奥））として郡山女子大学附属幼稚園に勤務 複数教員担当方式</p>				
到達目標	<p>①保育におけるマネジメントの意味とその意義について理解できたか。 ②カリキュラムマネジメントにおけるPDCAの意味とその意義について理解できたか。 ③実践例などを元に、保育の各場面におけるカリキュラムマネジメントの実際について理解が深まったか。</p>				
評価方法	授業参加度30% レポート70%				
教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省） ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府） ・池田幸代、田中謙編著『マネジメントする保育・教育カリキュラム』（教育情報出版） ・松本峰雄監修、浅川蘭子他著『保育の計画と評価 演習ブック』（ミネルヴァ書房） 				
内 容	<p>第1回 ・オリエンテーション（本授業の概要等について）</p> <p>第2回 ・社会状況との関係から考える保育3法令の変遷の歴史について</p> <p>第3回 ・乳幼児期における「生きる力」と育みたい資質・能力について</p> <p>第4回 ・保育における「カリキュラム」の考え方について</p> <p>第5回 ・保育における「カリキュラムマネジメント」の意義とその範囲について</p> <p>第6回 ・PDCAサイクルに基づくカリキュラムマネジメントとは</p> <p>第7回 ・保育の記録と省察（1）～保育における様々な記録とその意味～</p> <p>第8回 ・保育の記録と省察（2）～記録からの省察について～</p> <p>第9回 ・幼稚園、保育所、こども園におけるマネジメントの実践例から考える（1）</p> <p>第10回 ・幼稚園、保育所、こども園におけるマネジメントの実践例から考える（2）</p> <p>第11回 ・特別なニーズのあるこどもの支援に関するマネジメントについて（1）</p> <p>第12回 ・特別なニーズのあるこどもの支援に関するマネジメントについて（2）</p> <p>第13回 ・保護者との連携をマネジメントする意味とその方法について</p> <p>第14回 ・地域、関係機関との連携や接続に関するマネジメントについて</p> <p>第15回 ・まとめ</p>				<p>（担当：賀門、奥）</p>
備考	特になし				

講義要目

(専攻科幼児教育専攻)

科目名	必・選	担当教員	単位数	履修年次	授業形態
保育内容・方法の研究 I	必・選	教授 一柳 智子 2 准教授 永瀬 悦子 7	2	1年次 前期	講義
授業概要	<p>子どもの育ちにおける基盤としての健康に関して、運動・身体・発育発達・食育等の視点から学び、教育・保育に役立てる オムニバス方式。 第10回から第14回は、助産師・看護師として医療機関勤務および乳幼児健診をしてきた経験を活かして授業を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 子どもの育ちにおける根幹としての健康の意義を理解する。 2. 子どもの身体への解釈の方法を知る 3. 子どもの発育発達の特徴と運動、生活習慣について理解する。</p>				
評価方法	レポート・試験80%、授業態度20%				
教科書等	<p>参考書 レイチェル・バーグ『子どもの身体』福村出版 参考書 重安智子・安見克夫編著『保育内容「健康」』ミネルヴァ書房</p>				
内 容	<p>第1回 幼児教育の基本：幼児教育の根幹・目的・領域 第2回 幼児教育の基本：保育者の役割、他領域との関係 第3回 子どもの育ちと領域「健康」：運動能力と情緒 第4回 園生活と生活習慣：園生活の中で育む生活習慣 第5回 健康と遊び：子どもの遊び 第6回 子どもの身体論：精神論から身体論へ。ポストヒューマン的展開理論 第7回 身体論から身体表現論へ：運動とイメージから表現へ 第8回 安全教育：安全教育、安全管理、事故、災害対応 第9回 現状と課題：幼児教育の健康に関わる現代的課題について考える。 第10回 乳幼児期の発育・発達と健康：体の形態的発育と発育曲線について学ぶ 第11回 乳幼児期の生活習慣と健康：乳幼児期の基本的な生活習慣について学ぶ 第12回 乳幼児期の発達と運動：乳幼児期の発達段階に応じた運動と健康との関連について学ぶ 第13回 乳幼児の食と健康：子どもの食を取り巻く現状と課題、食育について学ぶ、食物アレルギーの状況と対応について学ぶ 第14回 乳幼児の健康支援：健康状態の観察、発育・発達状態の把握について学ぶ。健康を逸脱した状況における健康支援の在り方を学ぶ。 第15回 まとめ</p>				<p>第1回～第9回、 第15回 一柳教授 第10回～第14回 永瀬准教授</p>
備考	<p>第1～9回、第15回を一柳教授が担当(10回)、第10～14回を永瀬准教授が担当(5回) (研究業績・著書) 1, 4, 6 (研究業績・学術論文) 3, 5 (教育上の能力に関する事項) 1, 2, 5, 6</p>				

科目名	考古学特論	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	會田 容弘		
開講期	通年		
授業概要	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。史跡整備、埋蔵文化財の範囲確認・試掘・記録保存、学術調査などのさまざまな目的の発掘調査の実務経験を活かし、遺跡の発掘調査準備、調査、整理作業の実際を学ぶ。考古資料の基本的な操作方法を理解することが目標である。会津若松市笹山原遺跡16の発掘調査実習を通して発掘方法を理解する。次に出土資料の資料化の過程を理解する。課題に対するレポートはデータおよび版下図として提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2104		
達成目標	<到達目標>発掘調査で出土した資料を考古学研究の資料として利用できるまで整理できる能力を身に付けるレベルまで到達すること。単位認定の最低基準は授業内容の7割以上を理解していること。ディプロマポリシーとの関係：研究能力と研究課題		
受講資格	考古学の基本理解があること	成績評価 方法	レポートと授業への主体的参加度を評価する。100点を満点とし、60点以上で合格とする。考古学論文を作成する学生は80%以上の理解を求める。
教科書	『発掘調査のてびき』		
参考書	文化学科（資格課程）報告集第4～21集 地域創成学科報告集第1・2集		
学生への要望	考古学実習発掘に参加すること。この授業は実習作業が中心になる。資料を配布するので事前にそれを読み、確認しておくことが予習である。授業後、授業内容をノートに作成し復習すること。特に実測図の作成は授業時間で完成できない場合はあき時間に完成させること。		
オフィスタイトム	火曜日3時限目、水曜日2・4時限目。 ☒ 時間があいている限り、対応するが論文作成に関する質問は事前にアポをとり、質問内容を知らせること。メールの質問も可。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	笹山原遺跡16の調査経過	会津若松市笹山原遺跡16のこれまでの発掘調査の経過を説明する。	過去の発掘調査の理解。	60
2	笹山原遺跡16の調査方法	笹山原遺跡16の発掘調査方法について説明を行い、実際に調査を行う準備を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
3	笹山原遺跡群の研究成果	これまでの笹山原遺跡群の調査成果をまとめ、その意義と今後の課題について検討する。	過去の発掘調査の理解。	60
4	発掘調査実習（1）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。II a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
5	発掘調査実習（2）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。II a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
6	発掘調査実習（3）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。II a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
7	発掘調査実習（4）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。II b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
8	発掘調査実習（5）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。II b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
9	発掘調査実習（6）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。II b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
10	発掘調査実習（7）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。III層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
11	発掘調査実習（8）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。III層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
12	発掘調査実習（9）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。III層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
13	発掘調査実習（10）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
14	発掘調査実習（11）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	発掘調査実習（1 2）	笹山原遺跡N0.1 6の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
16	石器実測の方法	石の割れの原理を説明し、石器の実測方法について説明を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
17	石器実測（1）	実験で製作した剥片の実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
18	石器実測（2）	笹山原No.16遺跡から出土した後期旧石器を資料として実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
19	石器実測（3）	笹山原No.16遺跡から出土した石核を用いて実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
20	石器実測（4）	笹山原No.16遺跡から出土した石器を用いて、実測を行う。	完成した石器実測図をレポートとして提出する。	60
21	接合資料の理解	笹山原No.16遺跡から出土した石器の中に、接合資料が含まれている。この接合資料を用いて、笹山原No.16遺跡で行われた、石器製作技術理解の方法を述べる。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
22	石器属性分析の方法	石器を記述するために属性を抽出し、記述する。その方法を学ぶ。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
23	石器属性計測実習	石器の属性を実際に計測し、抽出する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
24	石器属性分析の実際	抽出した属性をEXCELに入力し、属性分析を行う。	授業で行った属性分析結果をExcelに入力し、グラフに出力し、提出する。	60
25	石器写真撮影	笹山原No.16遺跡出土の石器の写真撮影実習。	授業で撮影した写真をフォトショップとイラストレーターを用いてレイアウトし、データを提出する。	60
26	報告書製作 1	実測図のトレース、分布図の作成、属性表、調査内容の記述などの説明を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
27	報告書製作 2	実測した石器のトレースを行い、版下のレイアウトを行う。	トレースした図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
28	報告書製作 3	分布図を作成し、石器の出土位置を合成する。母岩別分布図を作成する。それらをトレースし、版下を作成する。	遺構図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
29	報告書製作 4	遺構実測図の合成し、トレースを行い、遺構図面の版下を作成する。	分布図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
30	報告書製作 5	報告書の体裁及び章立てなどの説明を行い、文章を実際に書いてみる。	遺物、分布、遺構の記述を行い、レポートとして提出する。	60

科目名	日本の考古学	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択
担当教員	會田 容弘		
開講期	通年		
授業概要	<p>東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。東北大学では中沢目貝塚の発掘と報告、奥松島縄文村歴史資料館では里浜貝塚の発掘調査と報告書作成をおこなってきた。その経験と研究成果を用いて、先史時代における考古資料を用いた人間の動作連鎖の復元研究の方法を提示する。具体的な研究例として宮城県東松島市里浜貝塚の調査成果を用いる。里浜貝塚からは石、粘土、鹿角などの様々な素材を用いた物質資料が出土している。資料の観察だけでなく、製作実験を行うことで、資料の技術的理解を深めることができる。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。</p> <p>位置付け・水準CS2105</p>		
達成目標	<p><到達目標> 貝塚出土資料分析の過程を理解し、実践的な調査を行うに十分な知識をもつレベルに到達すること。単位認定の基準は授業内容を7割以上理解していることが望まれる。ディプロマポリシーとの関係：専門的知識・研究能力</p>		
受講資格	考古学の基本理解があること	成績評価 方法	レポートと授業への主体的参加度合を加味して評価する。100点を満点とし、60点以上で合格とするが、考古学で論文を作成する学生には80%以上の授業理解を求める。
教科書	授業中に紹介する		
参考書	<p>里浜貝塚Ⅰ～Ⅸ 東北歴史博物館 里浜貝塚-平成9～12年度発掘調査概報-『松島湾の縄文カレンダー 里浜貝塚』「展望 考古学動作連鎖研究の社会的効用-遺跡博物館での活用法-」『考古学研究』第64巻第4号pp.31-35(2018.3)「縄文土器の動作連鎖-笹山原遺跡No.16の資料分析を通して-」『福島考古』第59号pp.1-14(柿沼梨沙と共著)(2017.11.20)</p>		
学生への要望	参考書を読み、予習・復習を行い授業に参加すること。ノートをまとめておくこと。授業で用いたパワーポイントは「めばえ」で公開するので、復習に用いること。		
オフィスタイム	火曜日3時限目、水曜日2・4時限目。☒ 時間がある限り対応するが、論文に関する質問については事前にメールでアポをとり、質問内容を知らせること。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	里浜貝塚の位置と環境	里浜貝塚の位置と環境、周辺遺跡について。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
2	里浜貝塚研究史	里浜貝塚の研究の歴史。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
3	里浜貝塚の発掘(1)	里浜貝塚里・西畑・寺下囲地点の調査結果	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
4	里浜貝塚の発掘(2)	里浜貝塚台囲地点の発掘調査。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
5	里浜貝塚の発掘(3)	里浜貝塚畑中・梨木地点の発掘調査。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
6	里浜環境史	泥炭層の植物遺体、花粉化石の分析による周辺環境の変遷史。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
7	縄文時代の前期・中期の里浜	縄文時代の前期・中期の里浜の集落、墓城、貝塚のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
8	縄文時代後期の里浜	縄文時代後期の里浜の集落、墓城、貝塚のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
9	縄文時代晩期、弥生時代の里浜貝塚	縄文時代晩期、弥生時代初等の集落、墓城、貝塚、製塩炉、浜辺の利用のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
10	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(1)	漁労活動。猟具と対象魚。採集対象魚。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
11	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(2)	狩猟対象鳥獣と狩猟具。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
12	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(3)	採集対象植物と植物加工具	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(4)	漁労具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
14	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(5)	狩猟具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
15	縄文時代中期から晩期の里浜人の生業(6)	植物加工具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
16	里浜貝塚の発掘 (1)	里浜貝塚の平成8年度の発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
17	里浜貝塚の発掘 (2)	里浜貝塚平成9年の発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
18	里浜貝塚の発掘(3)	里浜貝塚の平成10年発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
19	里浜貝塚の発掘 (4)	里浜貝塚の平成11年発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
20	里浜人の土器作り (1)	里浜貝塚出土の土器を観察し、その作り方、文様施文方法などを動作連鎖に基づいた仮説を作る。	仮説をレポートにして提出する。	60
21	里浜人の土器作り (2)	仮説に基づいた土器製作実験計画を立てる。	仮説を発表し、議論する。	60
22	里浜人の土器作り (3)	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
23	里浜人の土器作り (4)	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
24	里浜人の土器作り (5)	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
25	里浜人の石器作り (1)	石器石材の検討を行う。	縄文人の石器石材について笹山山原遺跡と比較してみる。	60
26	里浜人の石器作り (2)	石の割れの基本的理解。実験的に製作した石器を観察し、割れ面の理解を深める。	実験製作品を観察し、記述する。	60
27	里浜人の石器作り (3)	石器製作における加撃法、加撃具と残された痕跡の比較を行う。	加撃法・加撃具の明らかな実験石器と里浜貝塚出土遺物との比較を行い、レポートにする。	60
28	里浜人の石器作り (4)	縄文晩期前半の里浜集落の遺跡構成と生業と遺物 (2)	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
29	里浜人の石器作り (5)	実際に実験的に石器を製作してみる。	自分で作った石器について、記述してみる。	60
30	里浜人のモノづくりのまとめ	モノづくりの理解と動作連鎖の考え方を説明する。	実験研究をまとめ、何が理解できたかをまとめて提出する。	60

科目名	日本古代の歴史と文化	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員	會田 容弘		
開講期	通年		
授業概要	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。文献史学と考古学的方法により書かれた通史である佐藤信編『古代史講義』『古代史講義<宮都編>』『古代史講義<戦乱編>』『古代史講義<氏族編>』をテキストにして、具体的な事例を補いながら授業を進める。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 位置付け・水準：CS2202		
達成目標	<到達目標>日本原始・古代史の最新の文献史学・考古学的成果の理解し、それについて説明ができるレベルにまで到達できること。単位認定の基準は授業内容を7割以上理解していることが望まれる。ディプロマポリシーとの関係：研究能力と研究課題		
受講資格	考古学・古代史の基礎理解があること	成績評価 方法	授業への参加度を平常点とし、課題レポートを課す(平常点30%、レポート70%)。授業の60%以上の理解が必要である。考古学で専攻科論文を作成する学生は80%以上の理解が必要である。
教科書	佐藤信編『古代史講義』『古代史講義<宮都編>』『古代史講義<戦乱編>』『古代史講義<氏族編>』ちくま新書		
参考書	講義中に紹介する。		
学生への要望	授業の前に教科書を熟読し、わからない点などを確認し、ノートを作成すること。復習には授業時の内容をノートにまとめておくこと。		
オフィスタイム	火曜日3時限目、水曜日2・4時限目。考古学研究室または考古学実習室。 <input checked="" type="checkbox"/> 時間があいている限り、対応する。メールの質問も可。面接が必要な場合はメールでアポをとってから質問時間を設ける。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	日本考古学・日本歴史学の時代区分	時代区分論は歴史観だけでなく、考古学の世界では新発見によって変化する。また、日本という枠組みの変化もある。日本列島の地域区分とその中の時代区分を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
2	邪馬台国から古墳の時代へ	魏志倭人伝を中心とした史料からみた邪馬台国	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
3	邪馬台国時代に相当する遺跡遺物	吉野ヶ里遺跡・纏向遺跡など邪馬台国に相当する時代の遺跡を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
4	前期古墳	箸墓古墳、メスリ山古墳、桜井茶臼山古墳、古墳時代前期の集落	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
5	倭の大王と地方豪族	中国の文献に登場する倭の国、及び稻荷山古墳鉄剣銘、江田船山古墳鉄剣銘など数少ない文字資料から見える古墳時代を考える。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
6	中期・後期古墳大王墓と地方豪族の墓	畿内の大王墓と推定される古墳及び、それに準じる古墳の調査資料、そこから考古学者が考えた古墳時代像を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
7	蘇我氏とヤマト王権	古事記、日本書紀の記述から文献史学者が復元したヤマト王権について検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	飛鳥の古代遺跡と大津宮	奈良県明日香村を中心とした古代飛鳥（藤原京以前）の遺跡について、検討する。宮跡、終末期古墳、寺院跡など断片資料から考古学者がどのように研究を行っているかを見る。大津宮についても、明らかになったことを検討する。橿原考古学研究所の展示品を見ながら、検討したい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
9	飛鳥・藤原の時代と東アジア	ヤマト王権が畿内政権として成立する過程を東アジアの視点から見るという考え方を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
10	藤原京	始めて作られた条坊制の都城藤原京の発掘成果を見る。飛鳥資料館の展示を見ながら検討したい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
11	藤原京の寺院遺跡	藤原京内内には薬師寺、大官大寺などの寺院が作られている。同時代の寺院及び関連遺跡を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
12	平城京の実像	文献研究から明らかにされた平城京の造営課程、都市に伴う付帯施設などがどのような形で作られていったのか、基本文献の「続日本紀」がどのようなものかなどにも触れながら、文献研究で明らかになった平城京を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
13	平城宮・難波宮・恭仁京・紫香楽宮	考古学的調査により、平城京、難波宮、恭仁京、紫香楽宮がある。明らかになった考古学的事実を検証する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
14	平城京内の邸宅・施設	平城京域の調査は奈良文化財研究所の計画的な調査だけでなく、行政発掘の成果もある。それらの成果を見てみたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
15	平城京内の寺院遺跡	平城京内の寺院は現在も機能している唐招提寺や薬師寺、興福寺、元興寺そして東大寺がある。しかしそれらの寺院が奈良時代の建物が残っているものは唐招提寺・薬師寺東塔等だけである。発掘調査によって明らかになった奈良時代の寺院をみってみる。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
16	奈良時代の騒乱	奈良時代の政治史である。このようなテーマは文献に記された記録をもとに知る以外にない。どのような文献の記述から政治的騒乱があったのかを読み解く方法をみてみたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
17	長屋王邸宅と木簡	長屋王の変で失脚した左大臣長屋王の邸宅の発掘成果から、長屋王邸宅の遺構、木簡、遺物から文献に記された事象と考古学的事実と対比して検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
18	地方官衙と地方豪族	テキストでは考古資料を用いて地方官衙と地方豪族について述べている。文献研究が難しいことがよくわかる。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
19	多賀城と陸奥・出羽の城柵遺跡と附属寺院	時代は遡るが、仙台長町郡山遺跡から話は始まる。東北地方の国府は多賀城と秋田城である。古代出羽と陸奥は国境線の国であった。蝦夷との不明確な国境線には他の古代の国々とは異なる、城柵がある。東北地方ならではの城柵遺跡を発掘調査成果からみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
20	陸奥国の郡衙	国の下部組織に郡がある。福島県内では二本松郡山遺跡、清水台遺跡など郡衙や駅に相当する可能性がある遺跡が発掘されている。遺跡と郡衙を繋げる研究を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
21	遣唐使と天平文化	続日本紀と中国の記録などから、遣唐使の活動を記述している。まずはその記述内容を学ぶ。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
22	東大寺・正倉院研究	東大寺と正倉院には1500年の歴史が詰まっている。国家珍宝長に記載されている資料の同定作業から始まり、伝世資料の研究がある。さらに、世界の宝正倉院の資料保存の問題など、物質資料研究法を学ぶ。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
23	平安遷都と対蝦夷政策	桓武天皇即位までの天皇血統問題。考古資料では知ることのできない天皇の血筋問題。それが政治にどのように藩営しているのかを文献研究成果を見てゆく。さらに、蝦夷問題が中央でどのように見られていたのかを理解する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
24	長岡京・平安京と寺院	考古学的研究成果は行政発掘で明らかにされるが、千年の都には千年の歴史が重層している。京都府埋蔵文化財研究センターの仕事から学びたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
25	平安時代の多賀城・城柵	蝦夷政策の最前線の考古学的成果をみてゆきたい。多賀城、秋田城、城輪柵、弘田柵、伊治城、東山遺跡、城生柵、桃生城、玉造柵、色麻柵など多数ある。さらに北進した陸奥国府は胆沢城、徳丹城、紫波城である。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
26	平安時代の陸奥国生産遺跡―鉄・須恵器・瓦・塩―と寺院	鉄生産は福島県相馬市一帯に広がる製鉄遺跡群横大道製鉄遺跡などである。須恵器・瓦窯は多賀城関連の台原窯跡、日出山瓦窯、木戸瓦窯などである。製塩遺跡は松島湾沿岸の製塩遺跡が挙げられる。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
27	平安京の成熟と都市王権の展開・摂関政治の実像	平安時代を特徴づける貴族政治を文献史学の研究成果から理解を深めたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
28	国風文化と唐物の世界・受領と地方社会	平安時代の王朝文化を彩る国風文化とそれを支えた地方経済について、文献資料成果を見てゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
29	平安時代の集落：笹山原遺跡	郡山女子大学短期大学部で20年間発掘して見えてきた土師器生産集落の姿を、文献史学の成果を学んだあとで、考古学の成果をみて、そのギャップを知ってもらおう。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
30	平将門・藤原純友の乱の再検討、平泉と奥州藤原氏	古代の終末について、文献史学研究成果を学ぶ。時間があれば、世界遺産となった奥州平泉の発掘成果を見てゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次回の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
---	----	------	------	------

科目名	考古学演習	対象 単位数 必選	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択必修
担当教員	會田 容弘		
開講期	通年		
授業概要	<p>東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。考古資料を用いた実際的な研究を行ってきた経験を授業に生かし、指導する。発掘調査に参加し、出土した資料整理を通し、実際の考古資料を扱いその観察方法、記述方法を学び、実践する。さらに、実物資料認識の方法、その資料の関連研究を中心にまとめ、発表をおこない、学生同士の討論を行い、学習を深めて行くのが目標である。☒</p> <p>本学では2001年以来会津若松市湊町大字赤井字笹山原に位置する笹山原遺跡No. 16の発掘調査を継続して行っている。笹山原遺跡No. 16は平安時代、縄文時代前期、後期旧石器時代の複合遺跡でそこから出土した資料を用いて、実践的な演習を行う。☒</p> <p>発掘資料の整理、データ整理、記録法、写真撮影などの実践を踏まえて、資料に対する認識力を深め、論文読解を経て、学術的議論ができるような訓練を行う。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。</p> <p>位置付け・水準CS2209</p>		
達成目標	<p><到達目標>考古資料の理解を経て、考古資料の考古学的基礎に基づいた記述が可能なレベルにまで到達できること。☒</p> <p>考古学の学術論文を読み、批判的に検討できるレベルに到達すること。単位認定の最低基準は授業内容の7割以上を理解していること。ディプロマポリシーとの関係：研究課題と論理的・創造的</p>		
受講資格	考古学の十分な理解があること	成績評価 方法	レポート及び発表内容(レポート70%、発表30%)で60点以上の理解度で、合とする。考古学で論文を作成する学生は80点以上の理解度を求める。
教科書	イニザン他『石器研究入門』☒ 山中一郎「考古学における方法の問題」		
参考書	文化学科(資格課程)報告集第4～21集 地域創成学科報告集第1・2集		
学生への要望	考古学実習発掘に参加すること。発表と議論が中心になるので事前の準備を十分行うこと。事前準備が予習にあたる。発表内容への指摘点、修正指導点は復習としておこなってほしい。		
オフィスタイト	水曜日2・4時限目。緊急の場合はそれ以外でも可。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	考古学演習の説明	演習の進め方についての説明。	過去の発掘調査の理解。	60
2	発掘調査準備(1)	笹山原遺跡No. 16の発掘調査を行うにあたっての基本的な準備を行う。機材の確認、機材の操作方法の確認、発掘調査過程の確認を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
	発掘調査準備(2)	発掘調査に用いる図面、遺物カード、手引きなどの製作を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
4	発掘調査実習(1)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。II a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
5	発掘調査実習(2)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。II a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
6	発掘調査実習(3)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。II a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
7	発掘調査実習(4)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。II b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
8	発掘調査実習(5)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。II b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
9	発掘調査実習(6)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。II b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
10	発掘調査実習(7)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。III層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
11	発掘調査実習(8)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。III層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
12	発掘調査実習(9)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。III層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
13	発掘調査実習(10)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
14	発掘調査実習(11)	笹山原遺跡No.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
15	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察(1)	実際に出土した笹山原遺跡No. 16の石器遺物の全体を観察する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
16	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察(2)	石材分類。笹山原遺跡No.16から出土する石器遺物は様々な石材が用いられている。石材を理解し、その石材別の分類を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
17	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察(3)	母岩分類。同一の石材であっても、異なる母岩から製作されている。中には同一母岩から剥離された石器が存在することがある。それらを認識し分類する。☒	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
18	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察(4)	同一母岩に分類したものの中で、遺跡の中で剥片剥離行為がなされた場合、まれに接合する場合がある。それを捜し求める作業を行う。全部のピースがそろっていない立体ジグソーパズルである。接合する資料が確認された場合、それはその石器が持ち運ばれたか、石器製作中に飛び散ったかなどという具体的に石器時代人の行為を実証することができる。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
19	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察(5)	石器接合作業。石材、同一母岩データのデータベースへの入力。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
20	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察(6)	石器接合作業。石材、同一母岩データのデータベースへの入力。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
21	石器の記録(1)	石器の記録方法として実測と写真撮影がある。その基本を説明する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
22	石器の記録(2)	写真撮影と実測を実際に行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
23	土師器の写真撮影	土師器の記録方法として写真撮影を行う。デジタルカメラを用いて、ライティングを調節しながら行☒う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
24	土師器の観察(1)	土師器の破片資料の観察を行う。観察表の作成を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
25	土師器の観察(2)	土師器の観察表を作成し、集計を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
26	土師器の実験考古学	粘土を用いて土師器を実験的に製作する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
27	縄文土器の理解	笹山原遺跡No.16から出土した縄文土器破片を観察し、との特徴を調べる。胎土、文様、器形、調☒整などの要素の見かたについて説明し、実際の遺物解説の発表を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
28	縄文土器の記録	縄文土器の記録方法として、拓本をとる。拓本の技術は既に修得しているので、実際に笹山原No.1☒6遺跡出土の縄文土器を採拓し、前回の観察内容を記述し、発表する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
29	縄文時代の石器理解	縄文時代の石器を検討する。笹山原No.16遺跡から出土した縄文時代の石器を取り上げ、その石☒材、製作技術の特徴についてそれぞれ発表する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
30	縄文時代の石器の記録	石器を理解したうえで、写真撮影、実測を行う。撮影方法、実測方法については、博物館実習、日本の☒考古学で修得していることを前提に行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60